

2024年度 卒業時アンケート集計結果

人間社会学部

目次

1. 人間社会学部 現代社会学科	2
2. 人間社会学部 社会福祉学科	11
3. 人間社会学部 教育学科	21
4. 人間社会学部 心理学科	29
5. 人間社会学部 文化学科	37

＜2024 年度回答率＞ アンケート実施期間：2025 年 1 月 31 日(金) 00:00 ～2025 年 2 月 14 日(金) 23:59
(住居学科、家政経済学科、社会福祉学科、心理学科は別途期間に実施)

学部	学科	専攻	4年次在籍者数	回答数	回答率
家政	児童		93	40	43.0%
	食物 ¹	食物学	30	4	13.3%
		管理栄養士	52	8	15.4%
	住居	居住環境デザイン	110	76	69.1%
		建築デザイン			
	被服		96	79	82.3%
	家政経済		85	80	94.1%
	計		466	287	61.6%
文	日本文		131	52	39.7%
	英文		167	67	40.1%
	史		99	82	82.8%
	計		397	201	50.6%
人間社会	現代社会		122	28	23.0%
	社会福祉		107	80	74.8%
	教育		93	41	44.1%
	心理		80	75	93.8%
	文化		128	57	44.5%
	計		530	281	53.0%
理	数物情報科		97	63	64.9%
	化学生命科		110	79	71.8%
	計		207	142	68.6%
学部合計（通学課程全体）			1600	911	56.9%

¹ 食物学専攻と管理栄養士専攻で DP が異なるため、専攻ごとにアンケートを実施した。

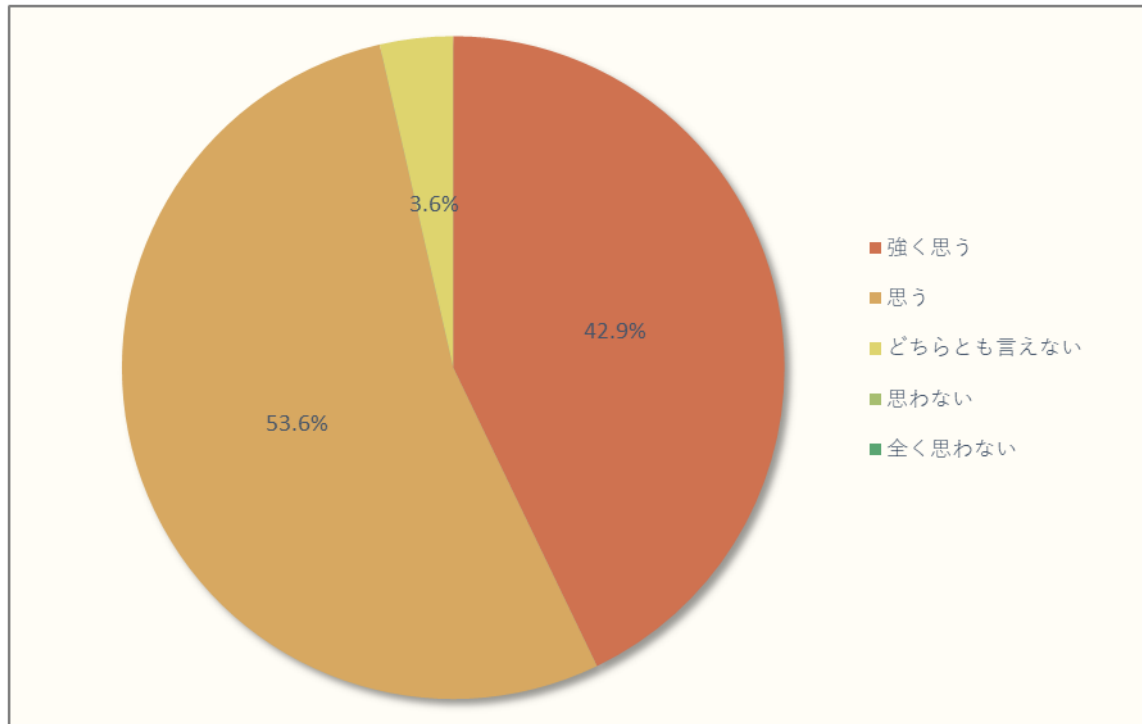
2024 年度卒業時アンケート調査（現代社会学科）

アンケート実施期間：2025/01/31(金) 00:00 ～2025/02/14(金) 23:59

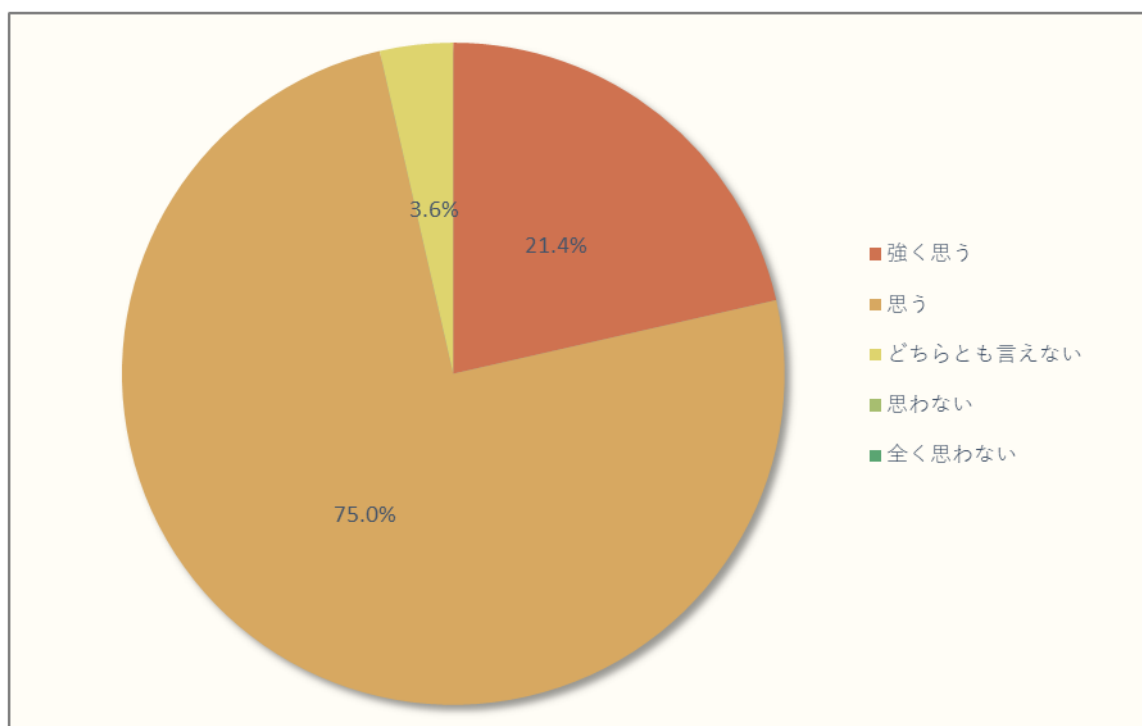
対象者数：122 名 回答者数：28 名 回答率：23.0%

現代社会学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？〔現代社会学科DP〕

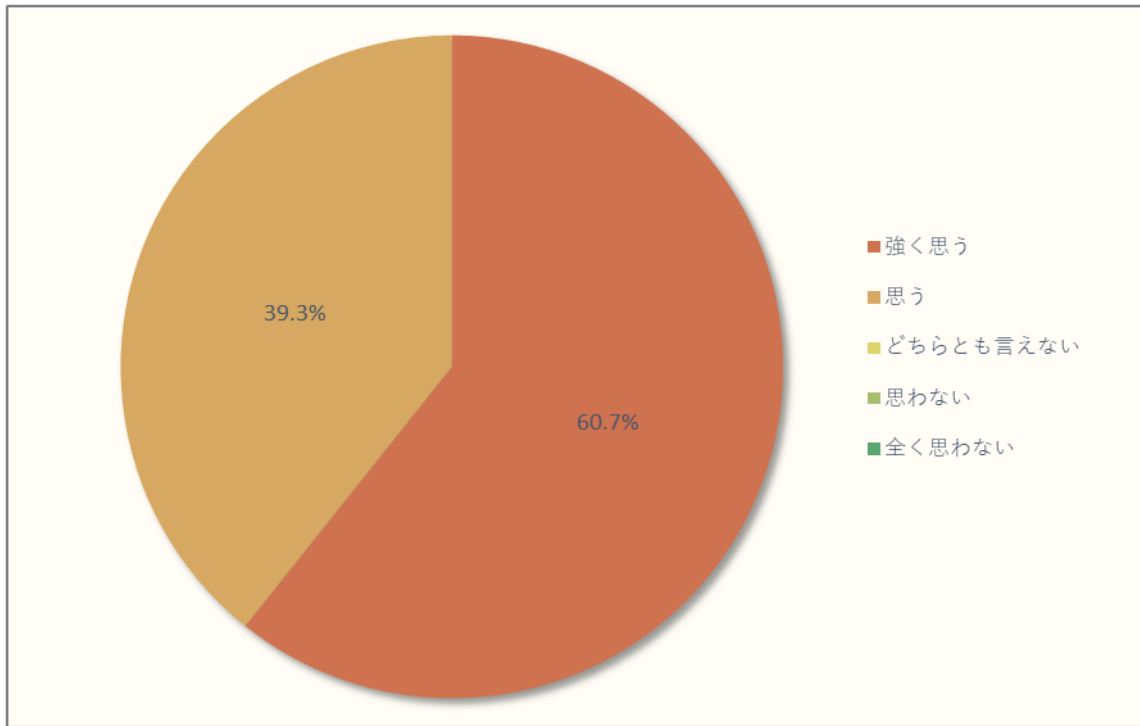
1. 社会学、歴史学、経済学、人類学等の専門諸科学の理論や方法に関する幅広い知識を身につけることができる。【大学 DP1・2】



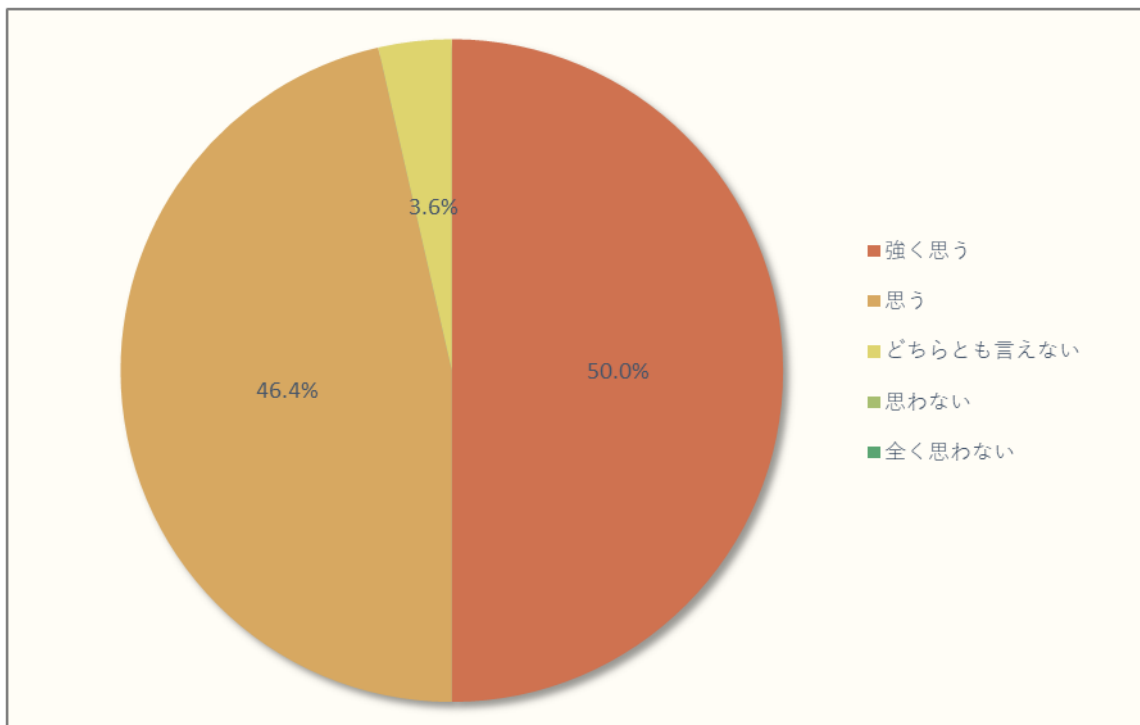
2. グローバルに広がる多様な地域社会や地域文化を、多角的な視点から掘り下げ、相対的に分析することができる。【大学 DP3・4】



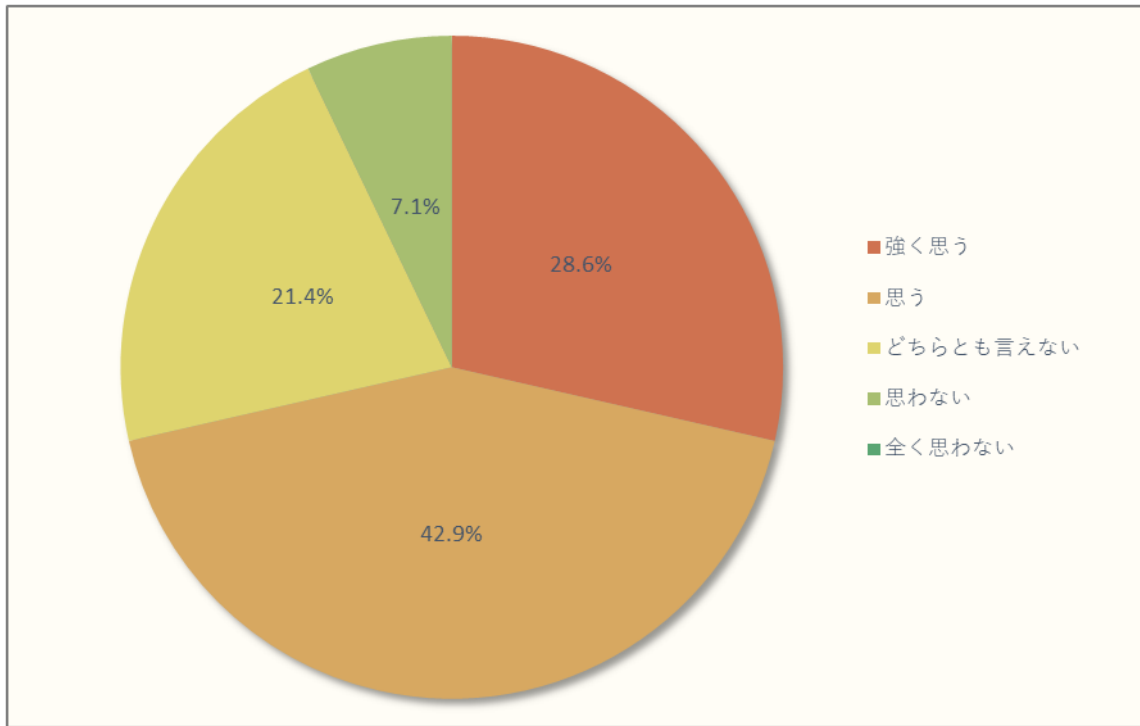
3. 現代社会における多様な文化現象や社会問題を、社会科学적인視点から客観的に分析することができる。【大学 DP3・4】



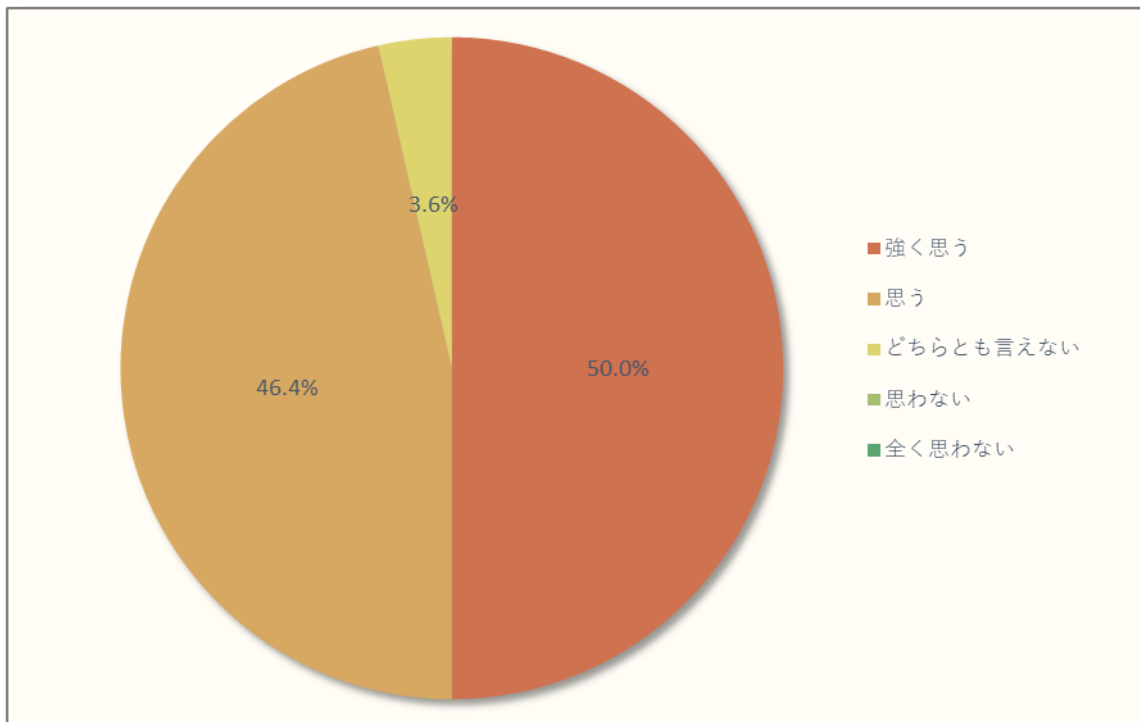
4. 社会科学적인適切な問題意識から、多様な社会現象を自らの視点をもって、論文やレポートにまとめ、論じることができる。【大学 DP1・2・5】



5. 社会調査にかかわるデータを収集・整理・分析する能力を修得し、社会の問題・現象を実証的に分析することができる。【大学 DP2・3・4】

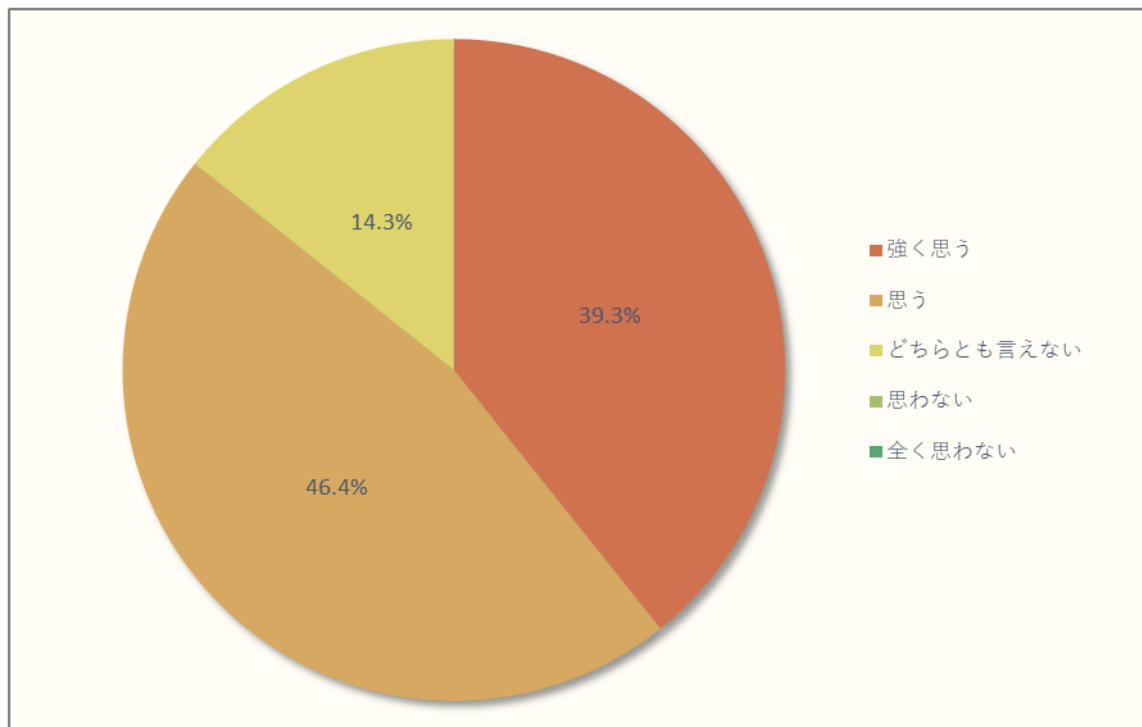


6. 現代社会の広がりに対する感覚と認識を身に付け、そこで表れる諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする高い意欲と倫理的態度を持つことができる。【大学 DP5】

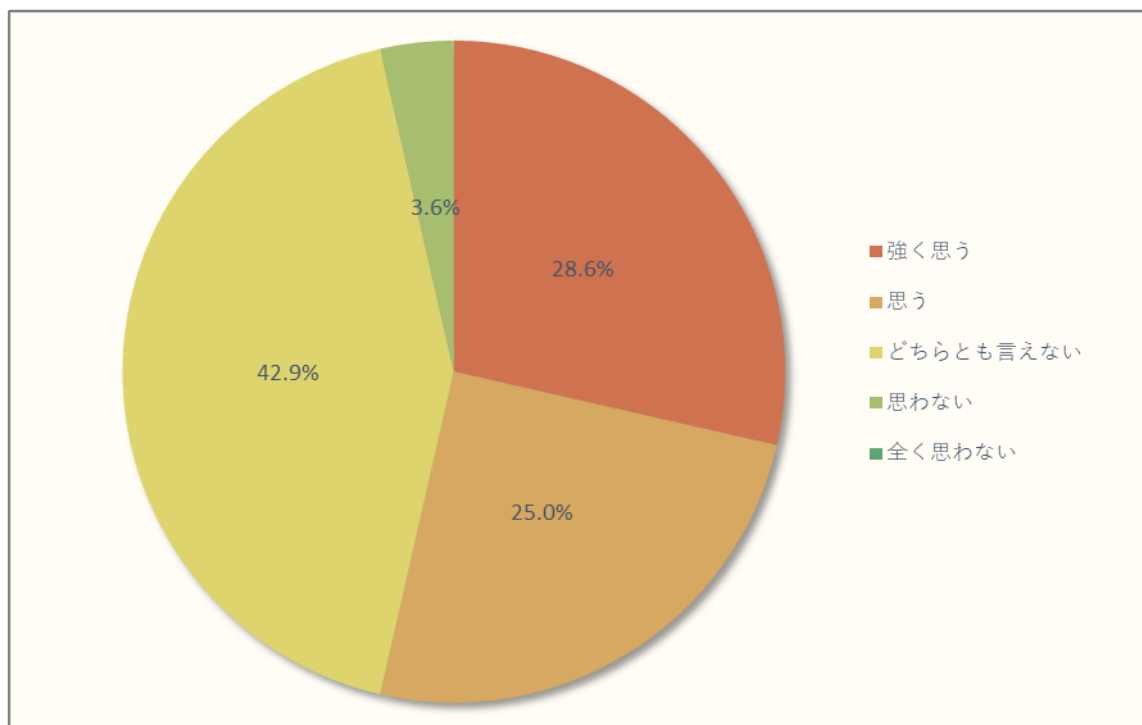


7. 現代社会の構造を知るため、そのなかに自己を位置づけ対象化する能力を持ち、社会と自己の関係を表現する力を備え、それによって様々なバックグラウンドを持つ他者と討議交流することができる。

【大学 DP3・5】

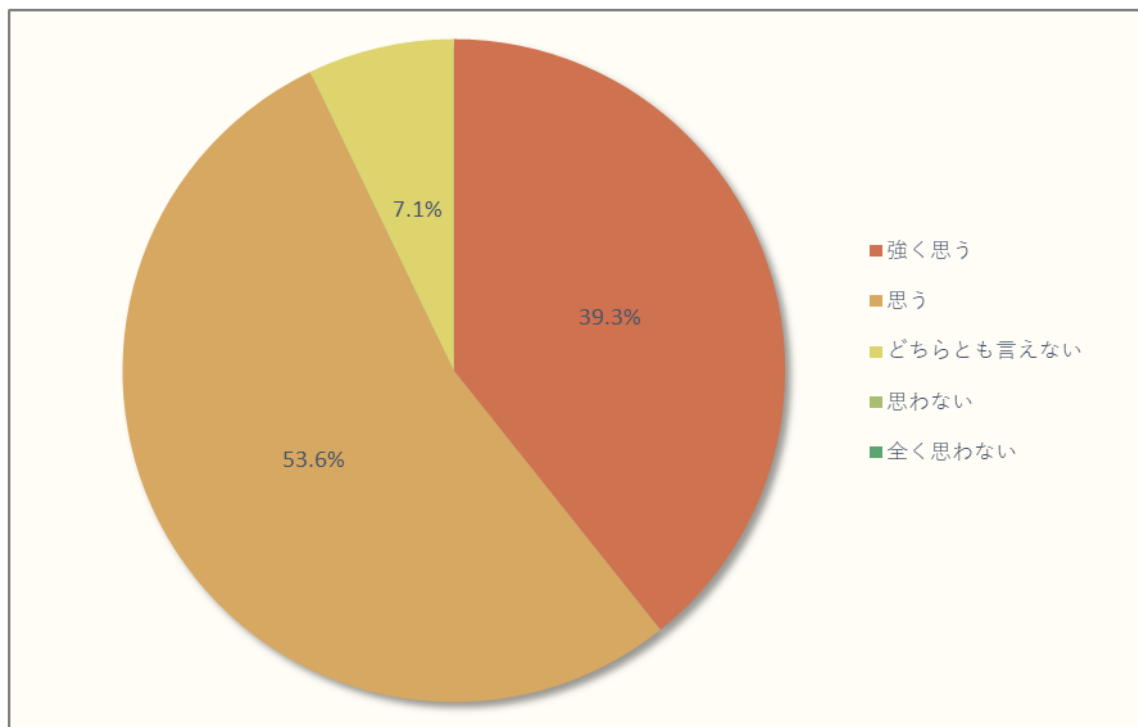


8. 日本語および外国語を運用する能力を持ち、文献・資料の背景にある社会的・歴史的な文脈を理解したうえで的確かつ批判的に解説し、また広く社会に発信することができる。【大学 DP3・4・5】

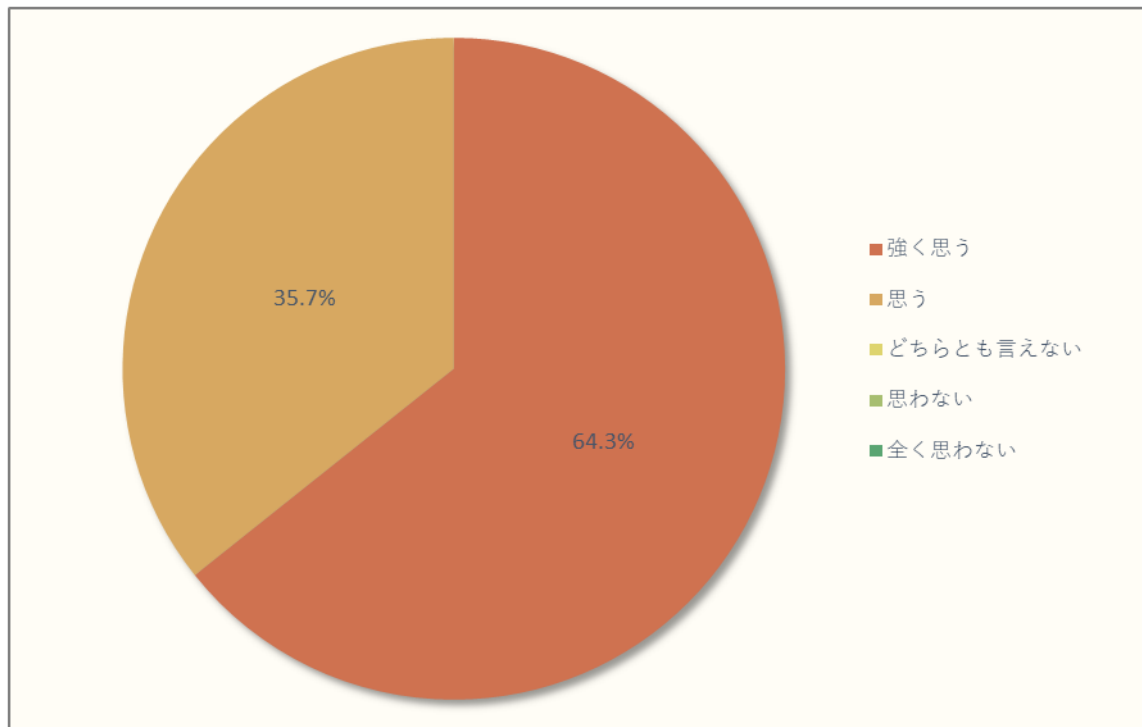


本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [教養特別講義DP]

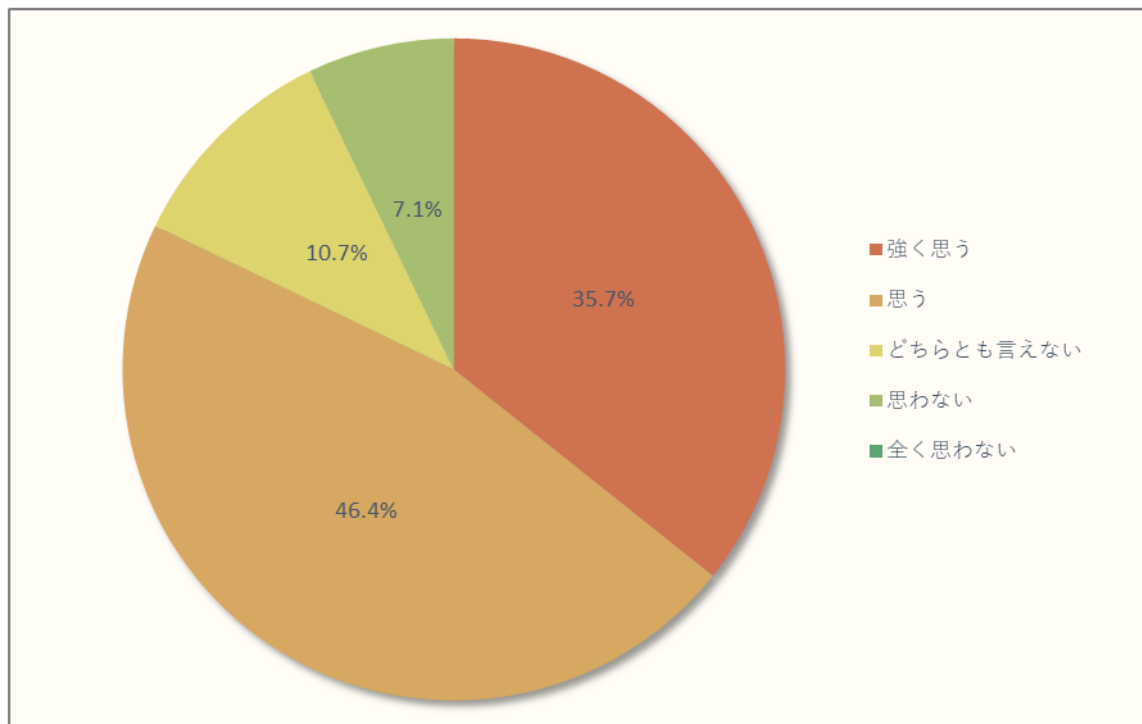
9. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



10. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。
日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

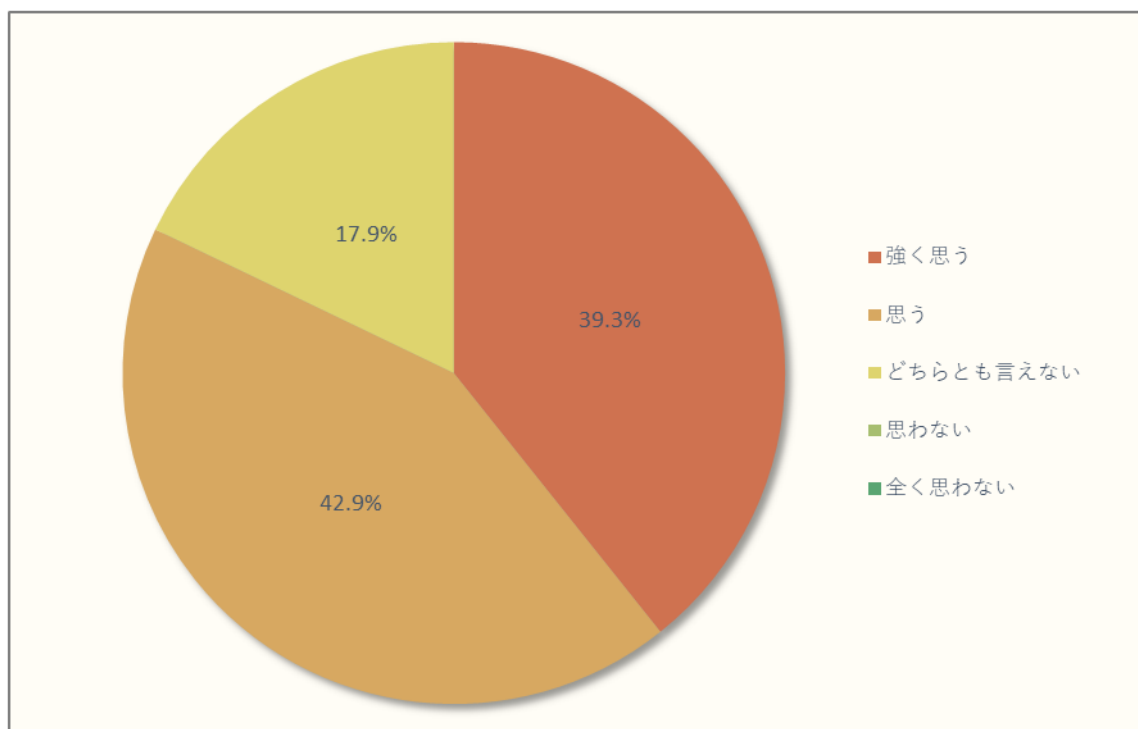


11. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。
日本女子大学の施設設備に満足していますか？

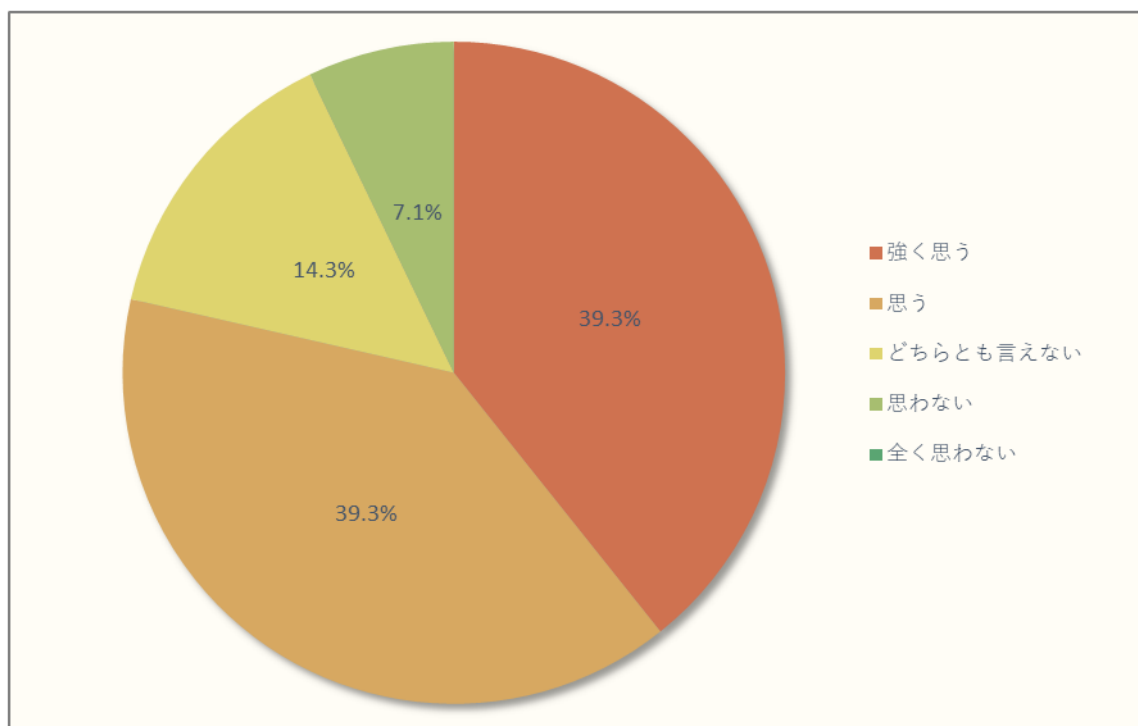


12. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

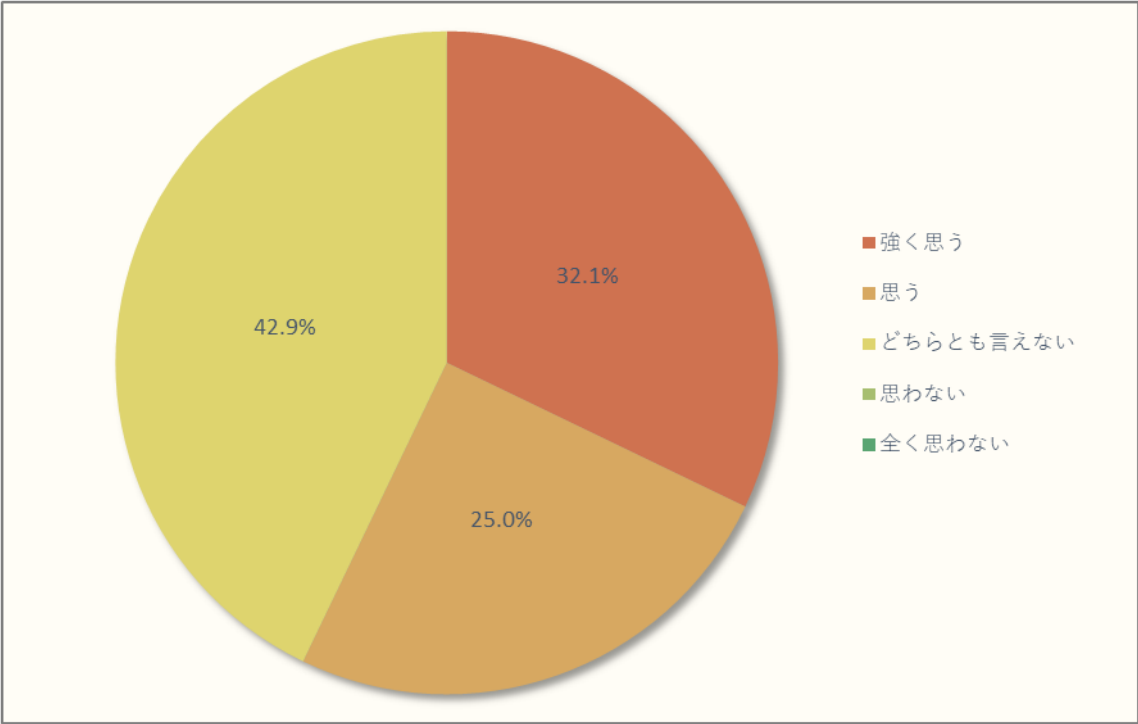
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



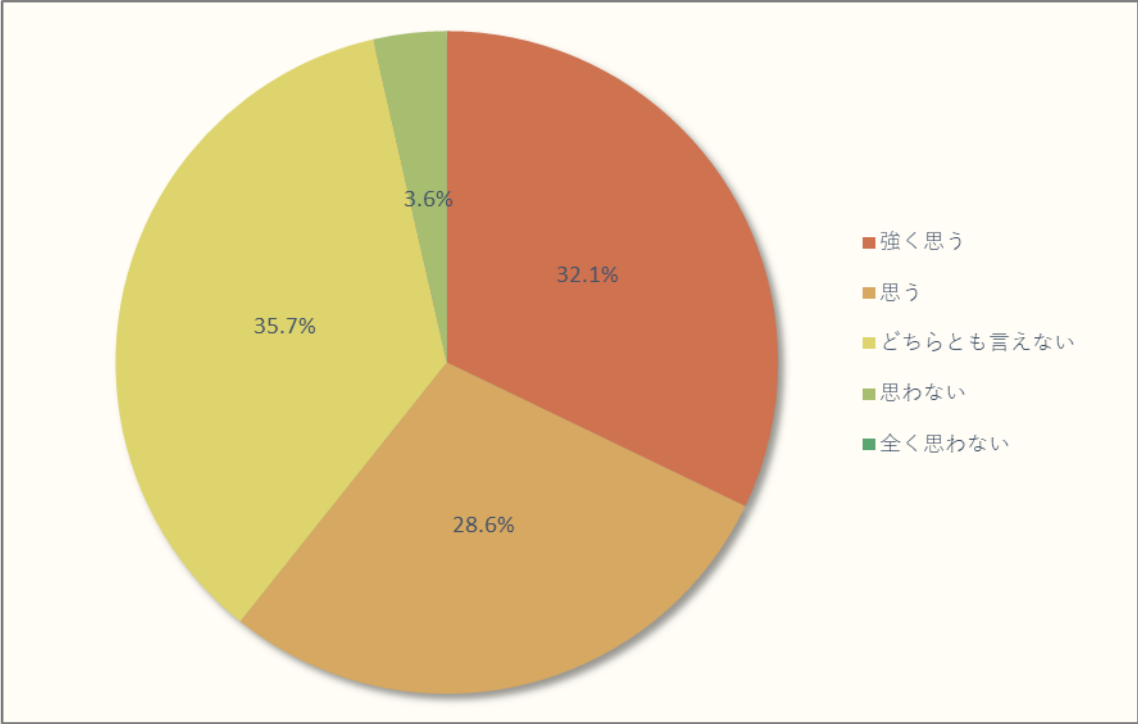
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



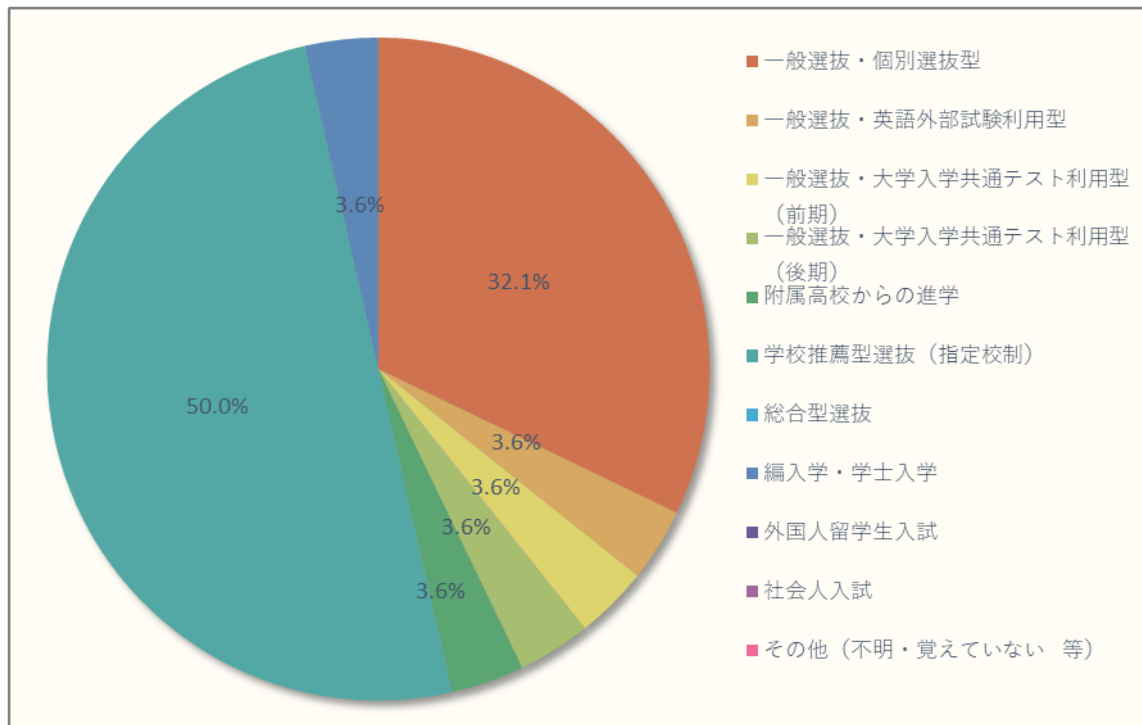
③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



15. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。



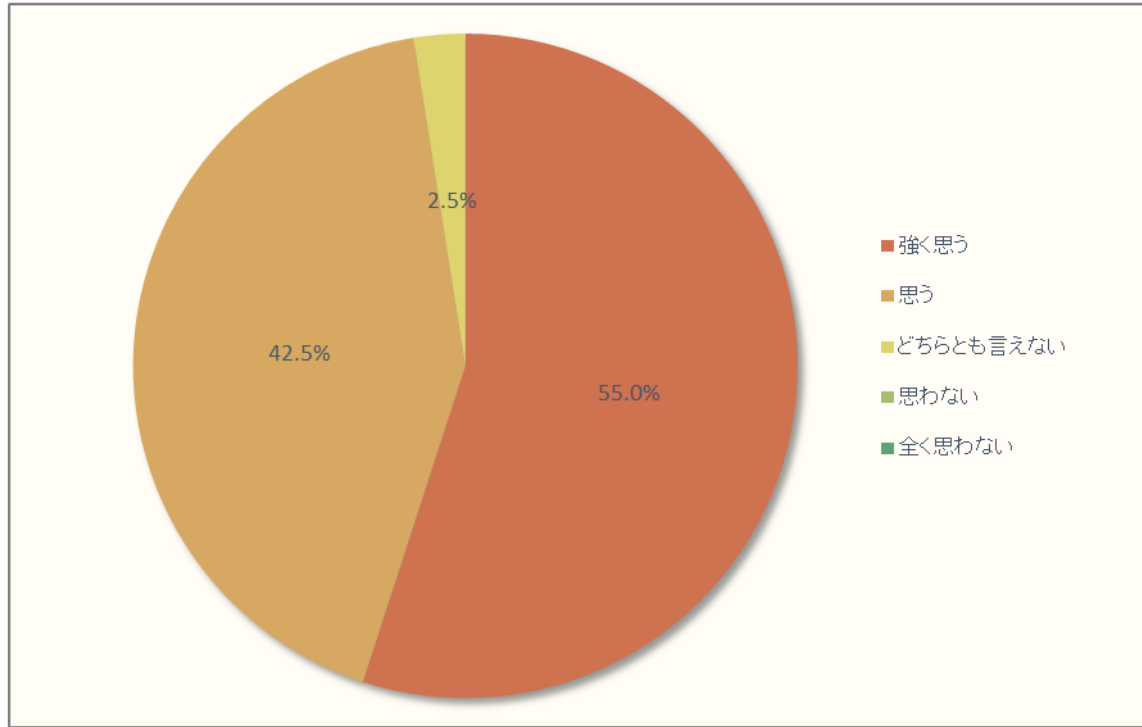
2024 年度卒業時アンケート調査（社会福祉学科）

アンケート実施期間：2024/12/11(水) 00:00 ～2024/12/12(木) 23:59

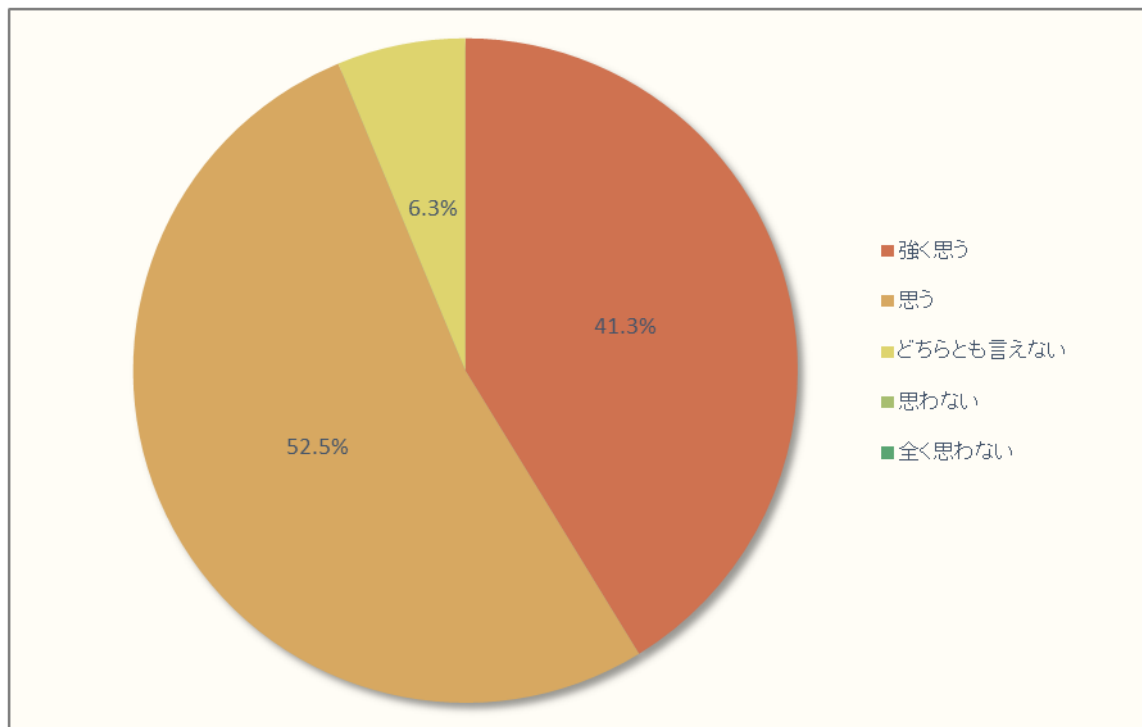
対象者数：107 名 回答者数：80 名 回答率：74.8%

社会福祉学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？〔社会福祉学科DP〕

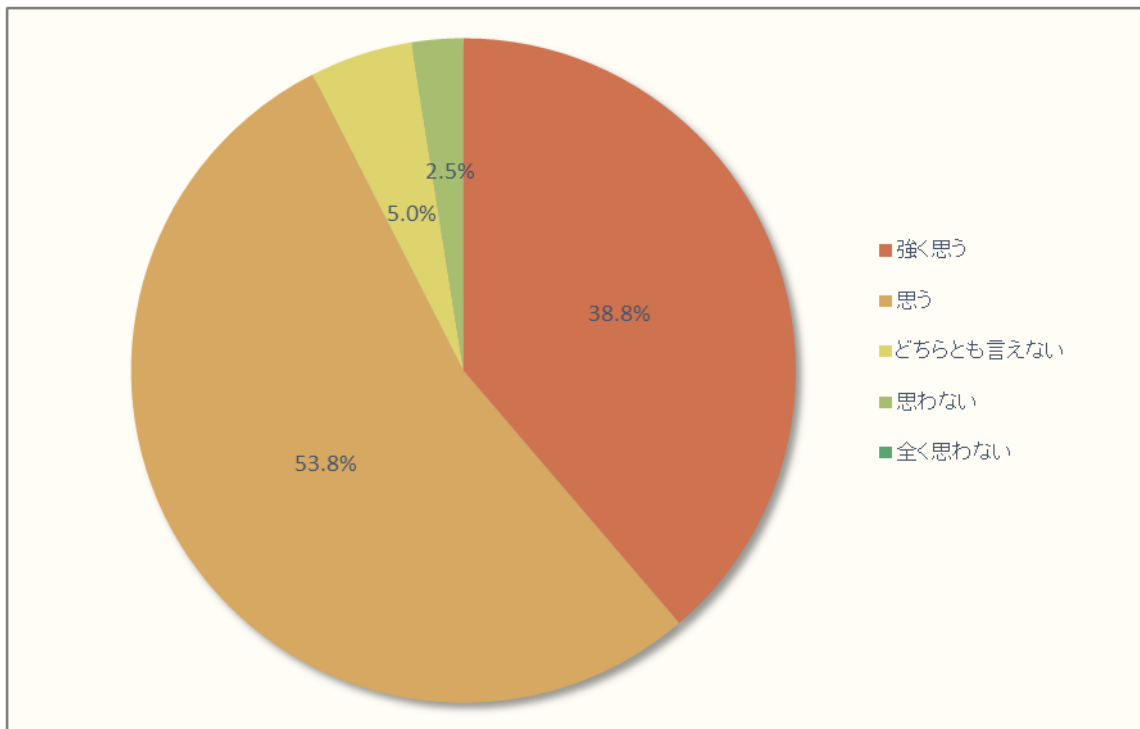
1. 社会のあらゆる生活上の諸問題に関心を持つことができる。【大学 DP1・2】



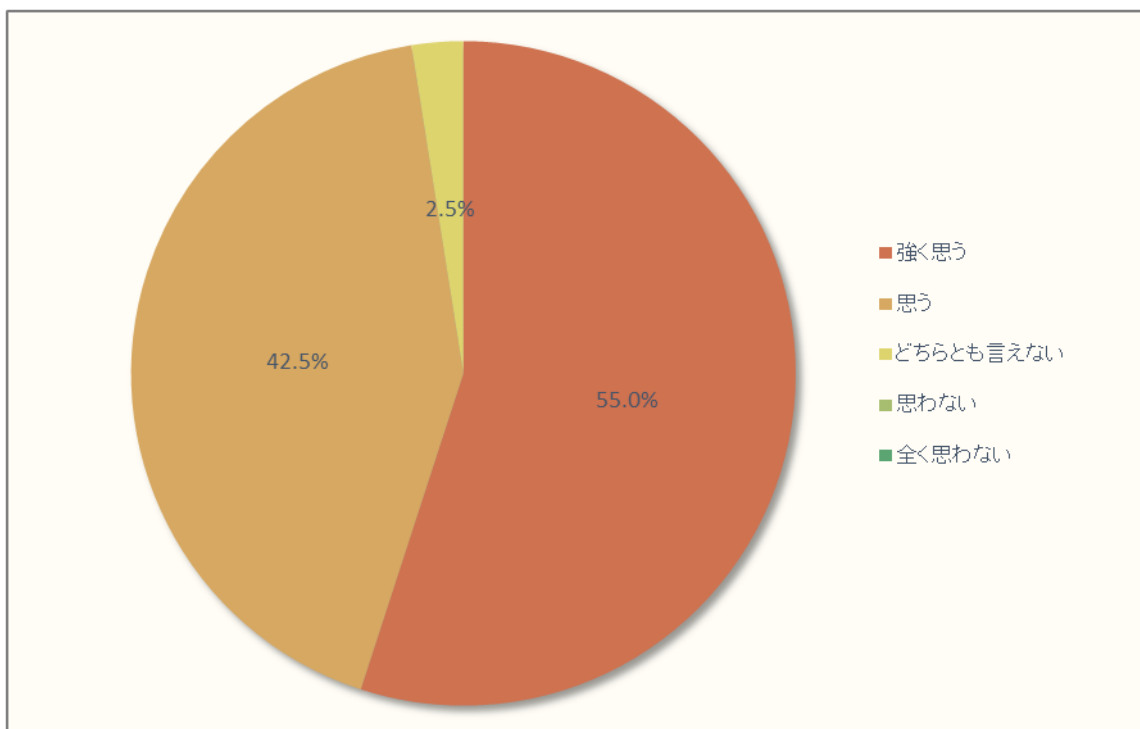
2. 今日生じている生活上の諸問題について、社会構造的要因分析の視点を持つことができる。【大学 DP1・2】



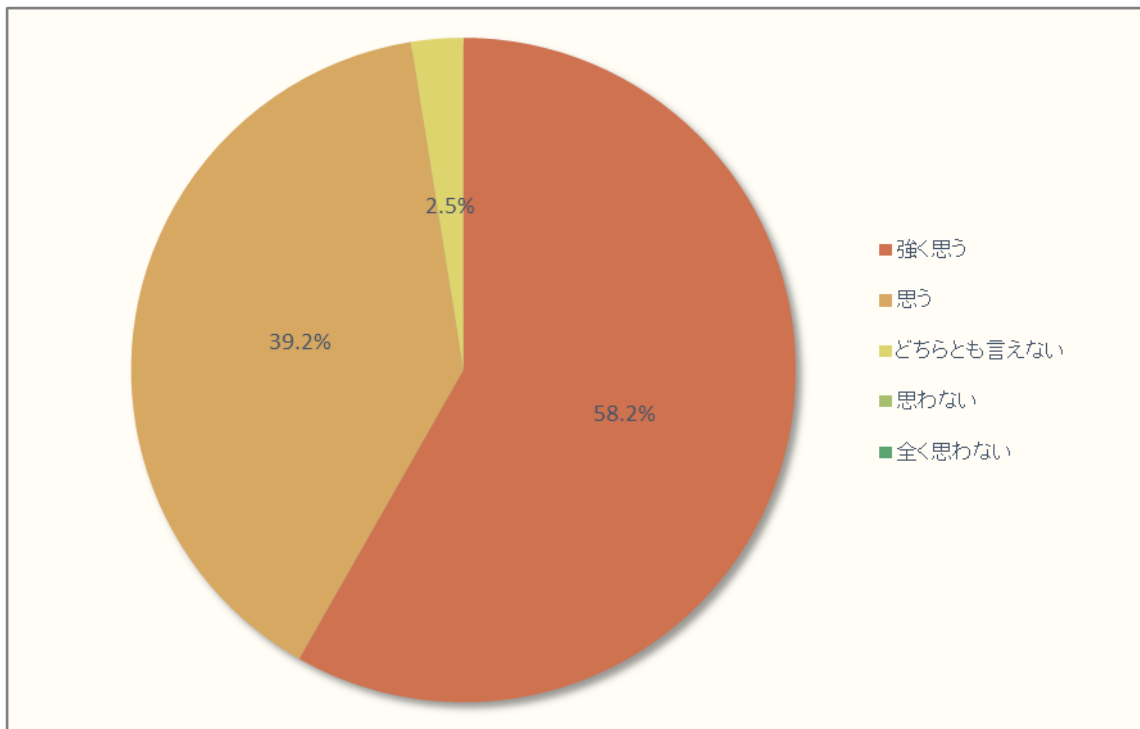
3. 社会福祉の基本的な構造、制度・政策、方法についての知識を獲得し、社会福祉の機能を理解することができる。【大学 DP1・2】



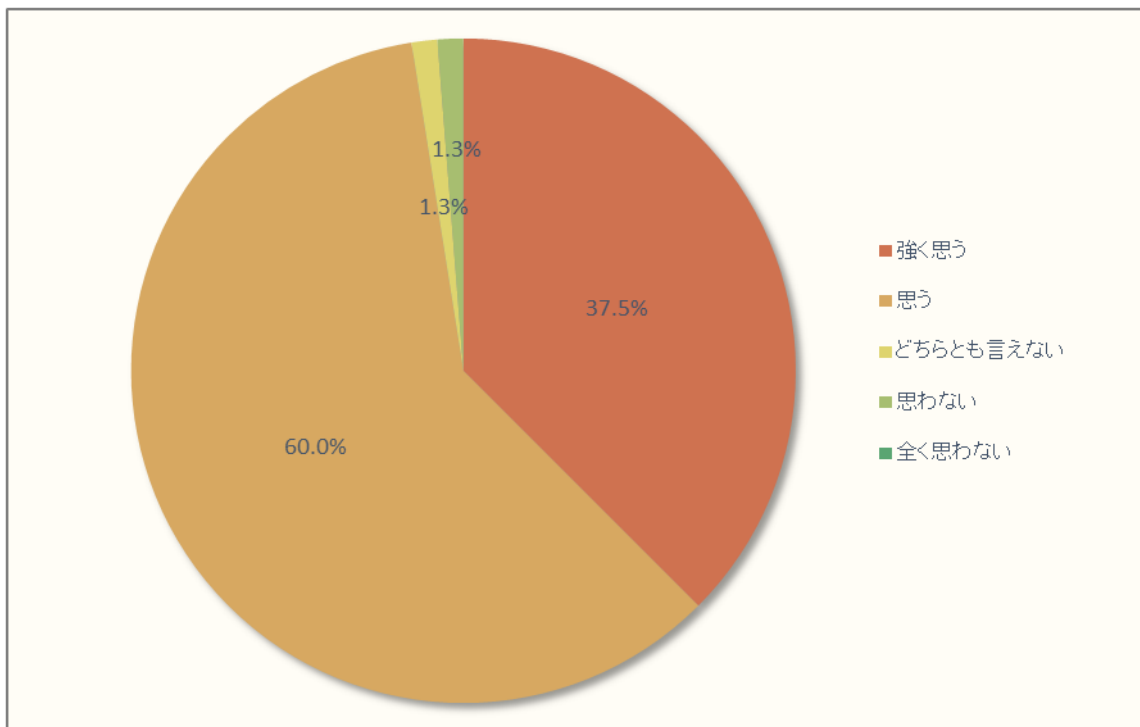
4. 課題に直面する当事者や支援活動に従事する人など、様々な立場の人の背景や置かれている状況を正しく理解し、多様な価値観を受け入れることができる。【大学 DP3】



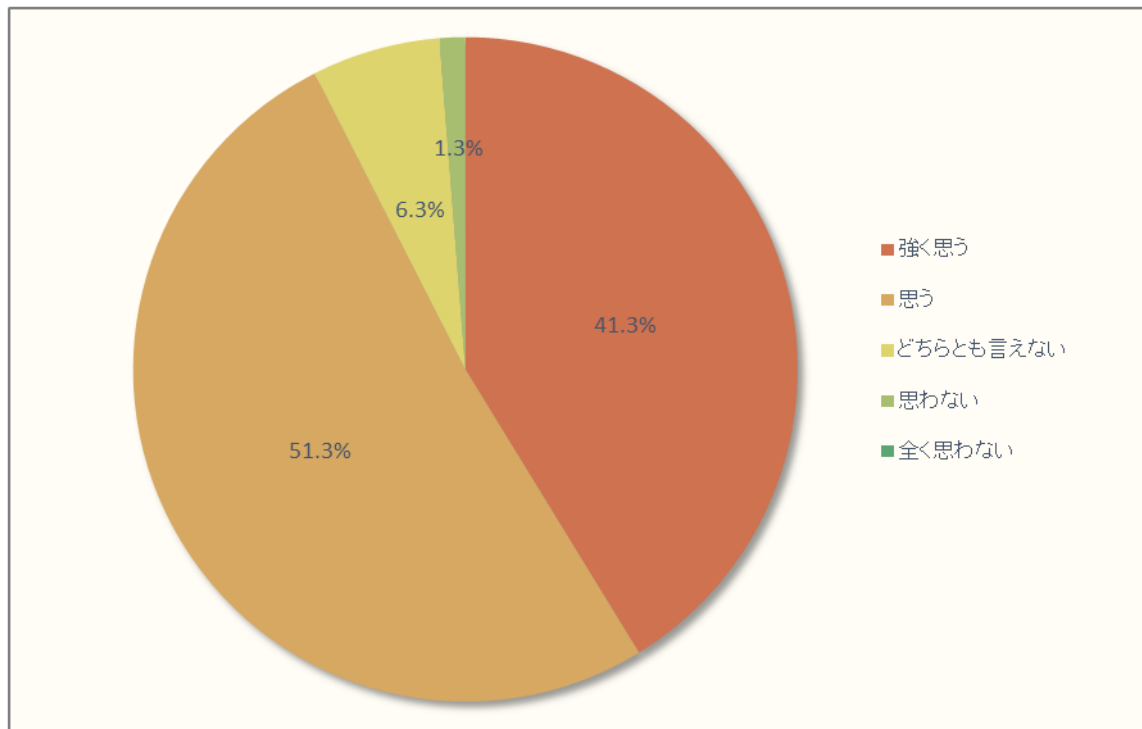
5. 他者の意見と自身の意見を尊重し、他者と協働しながら思考して課題に取り組むことができる。【大学 DP3】



6. 問題や課題を発見し、解決に向けた適切な方法とその過程を提案することができる。【大学 DP2】

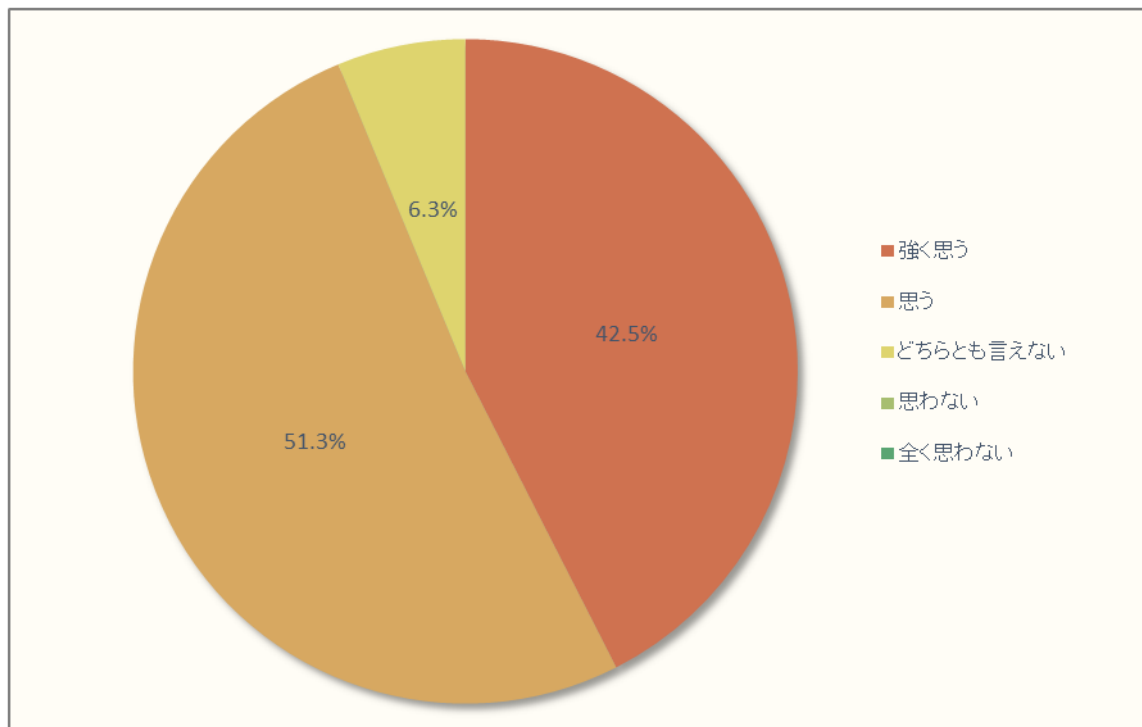


7. 人権と社会正義の原理に基づいたソーシャルワークのあり方を身に付け、問題の解決に向けて行動できる。【大学 DP4・5】



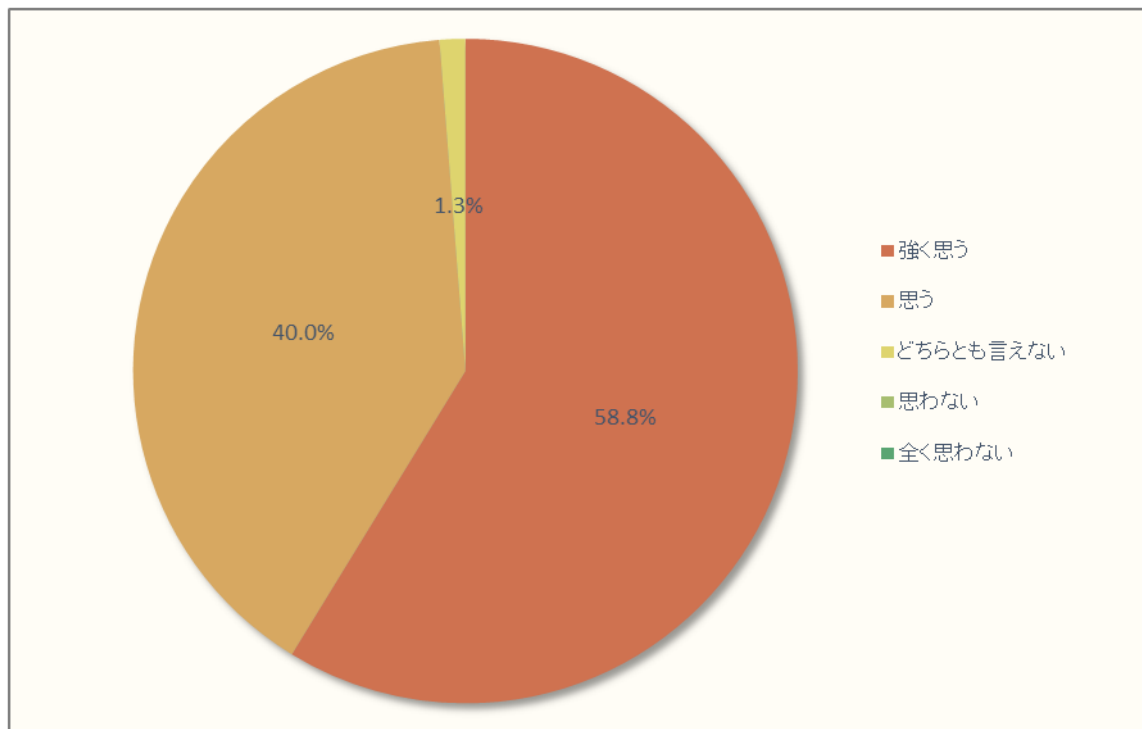
8. 学科独自の調査項目（1）

卒業後、社会福祉学科で学んだ理論を生かし、実践することができると思いますか？



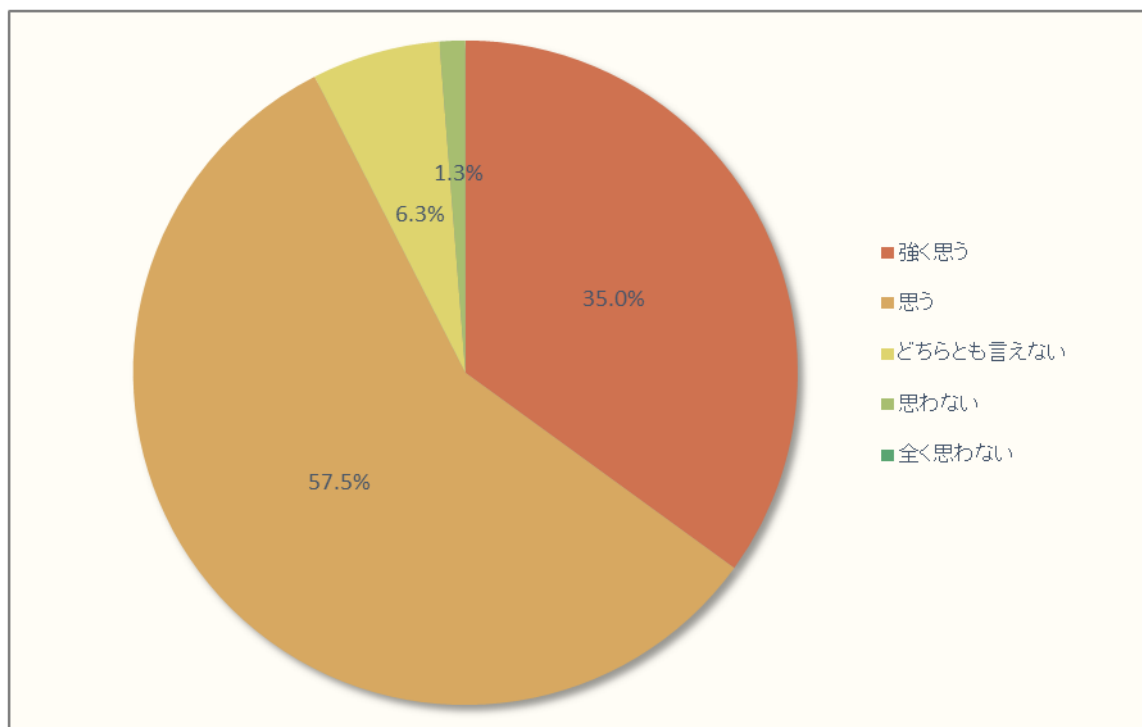
9. 学科独自の調査項目（2）

福祉的な視野を持ち、現代社会における様々な課題に関心を持つことができるようになったと思いますか？



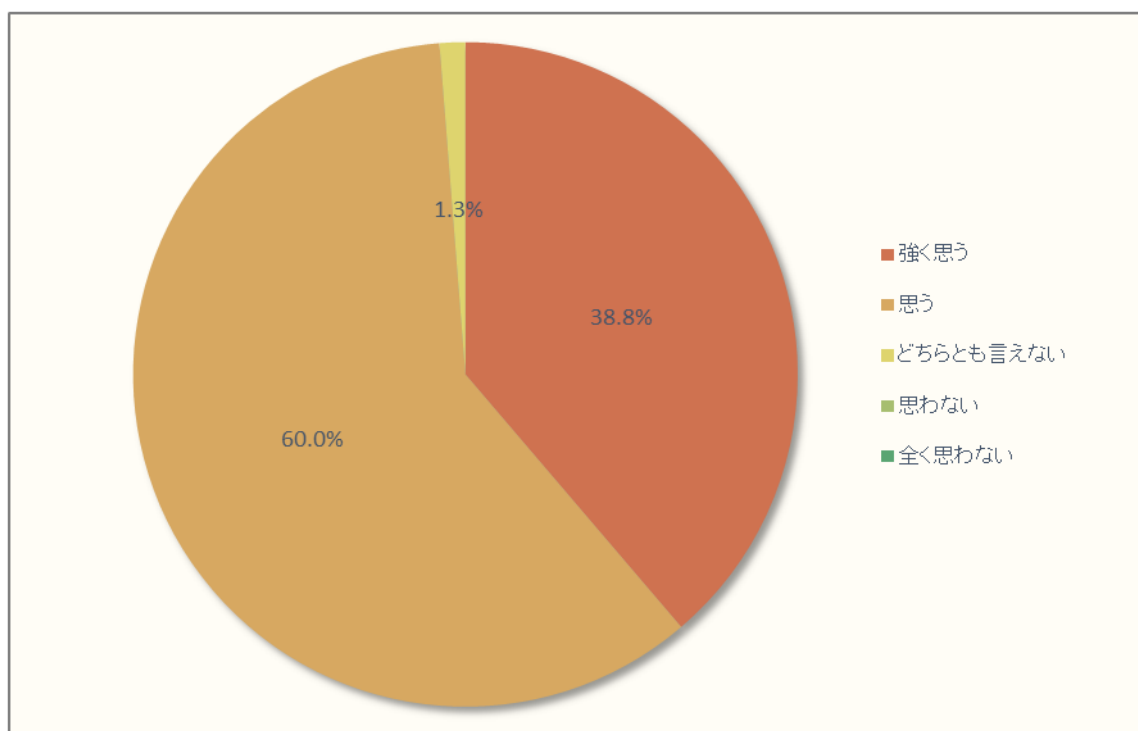
10. 学科独自の調査項目（3）

福祉的な課題に対して様々な解決策を提案し、実践することができるようになったと思いますか？



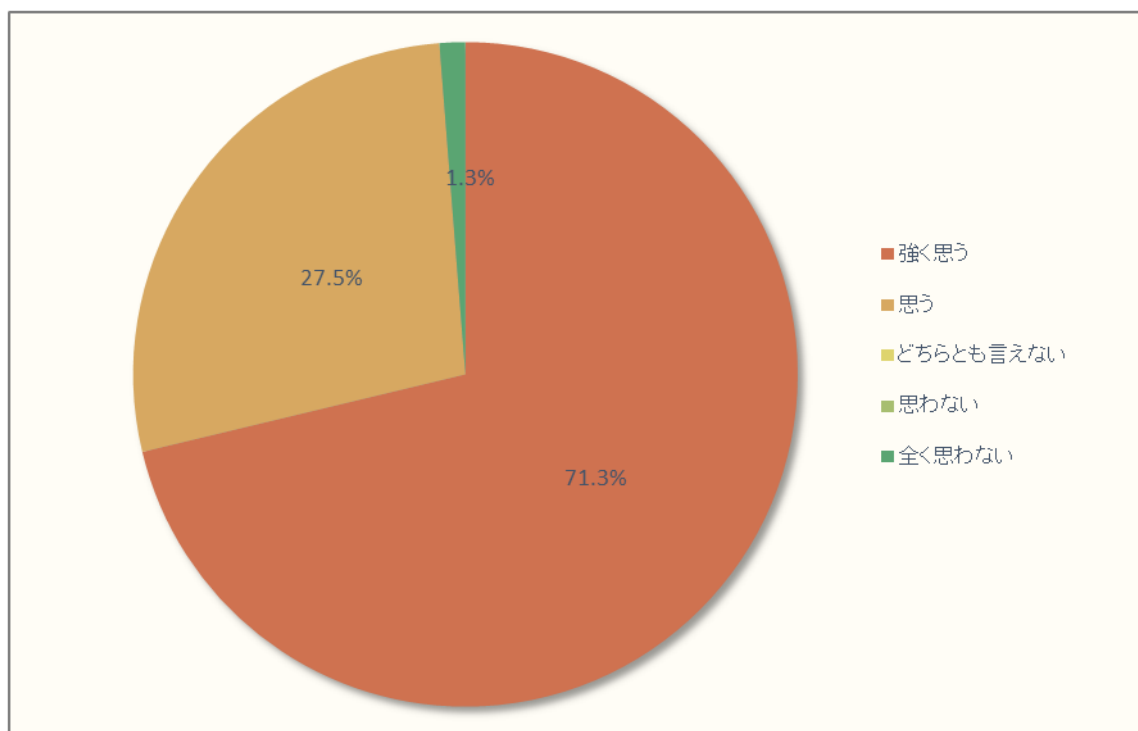
本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [教養特別講義DP]

11. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



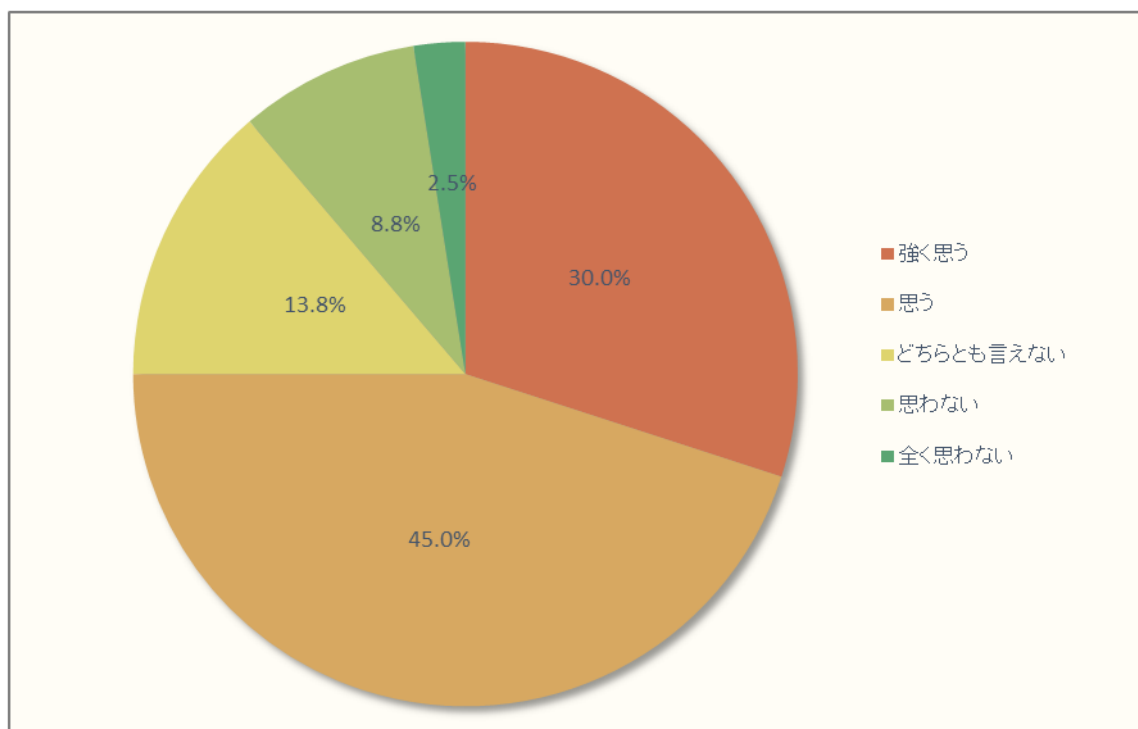
12. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。

日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



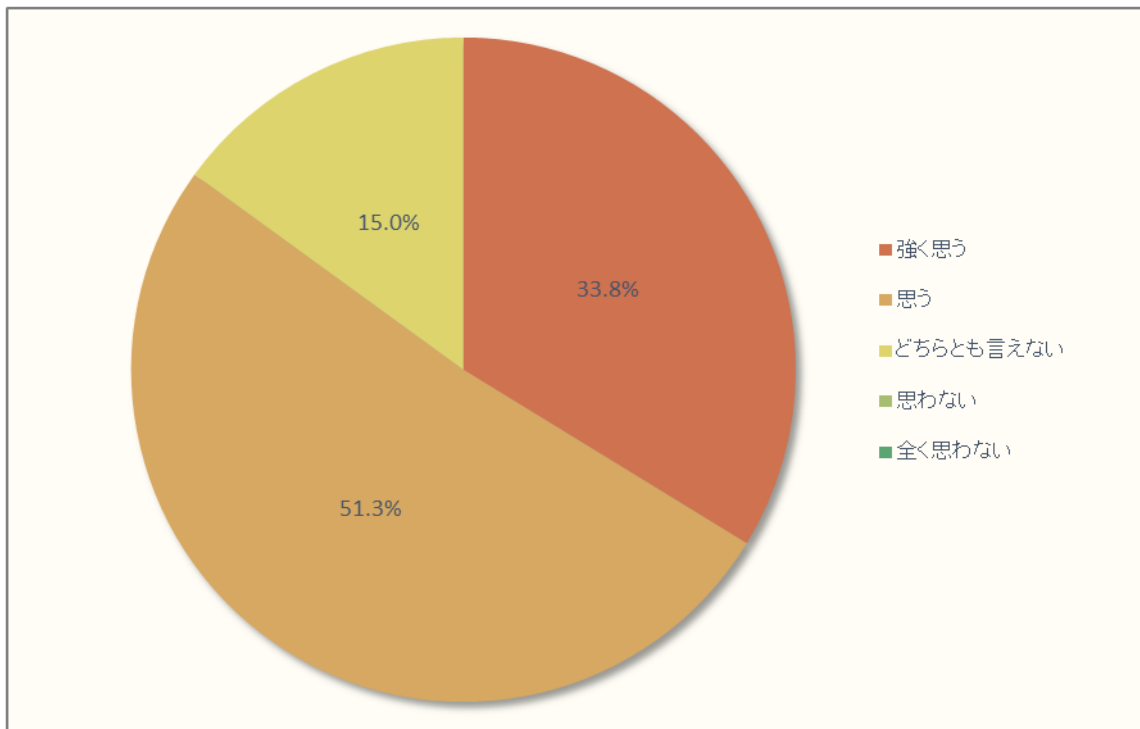
13. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。

日本女子大学の施設設備に満足していますか？

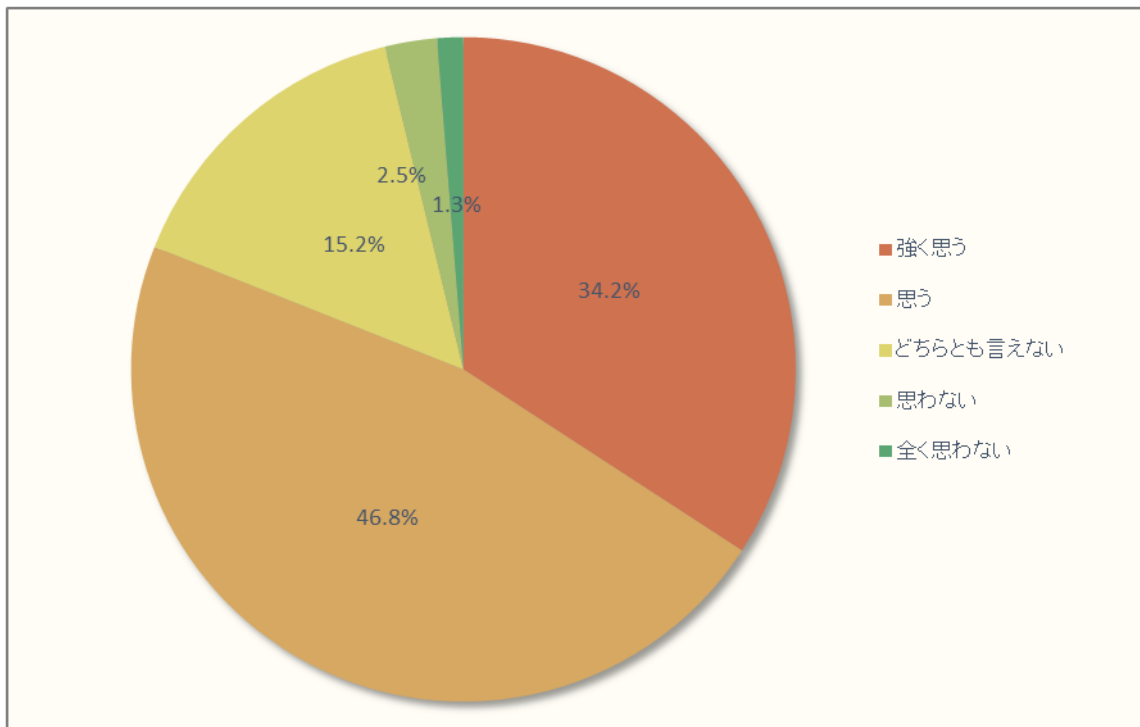


14. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

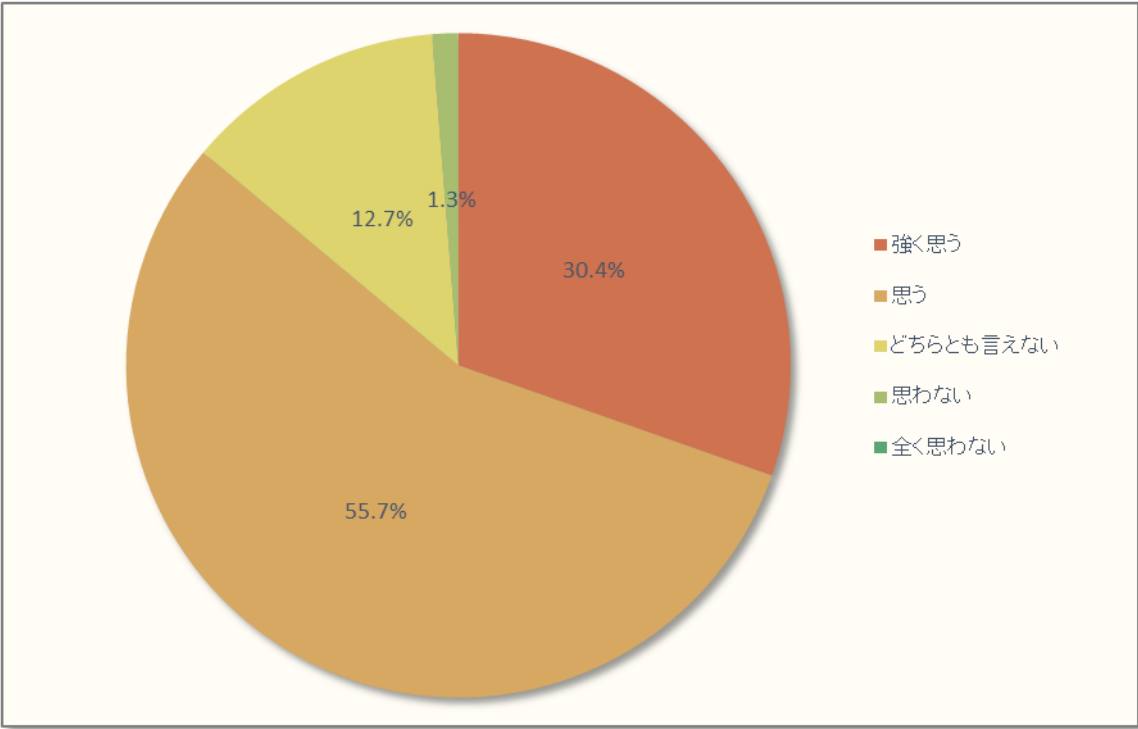
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



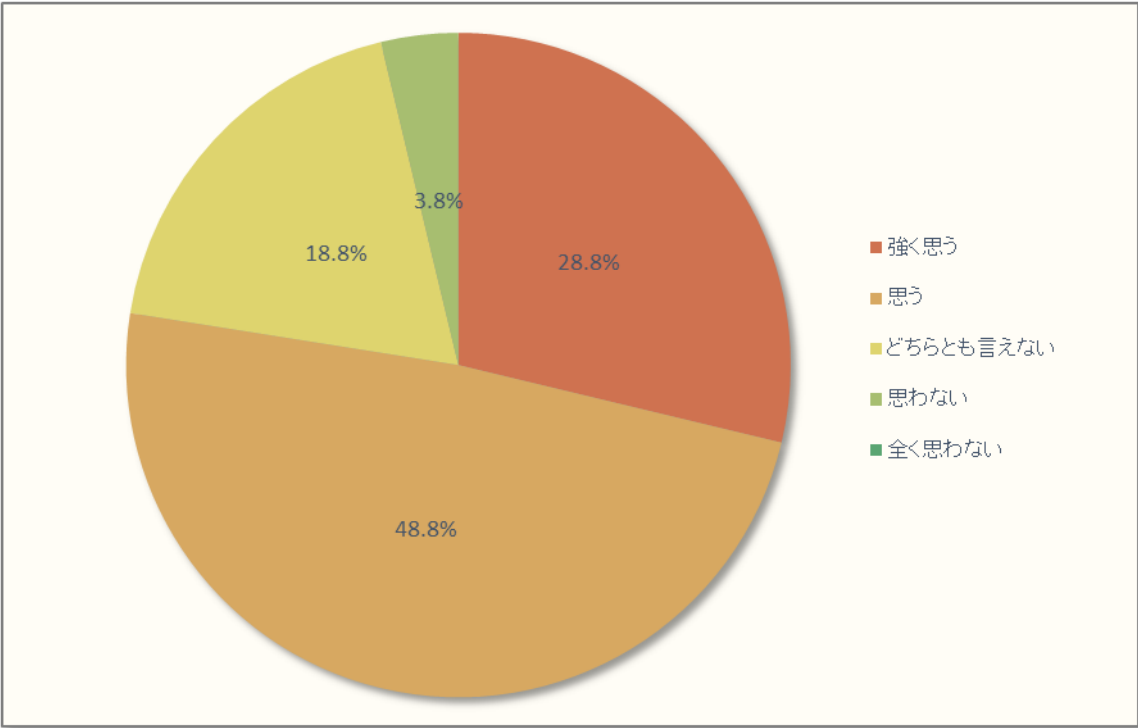
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



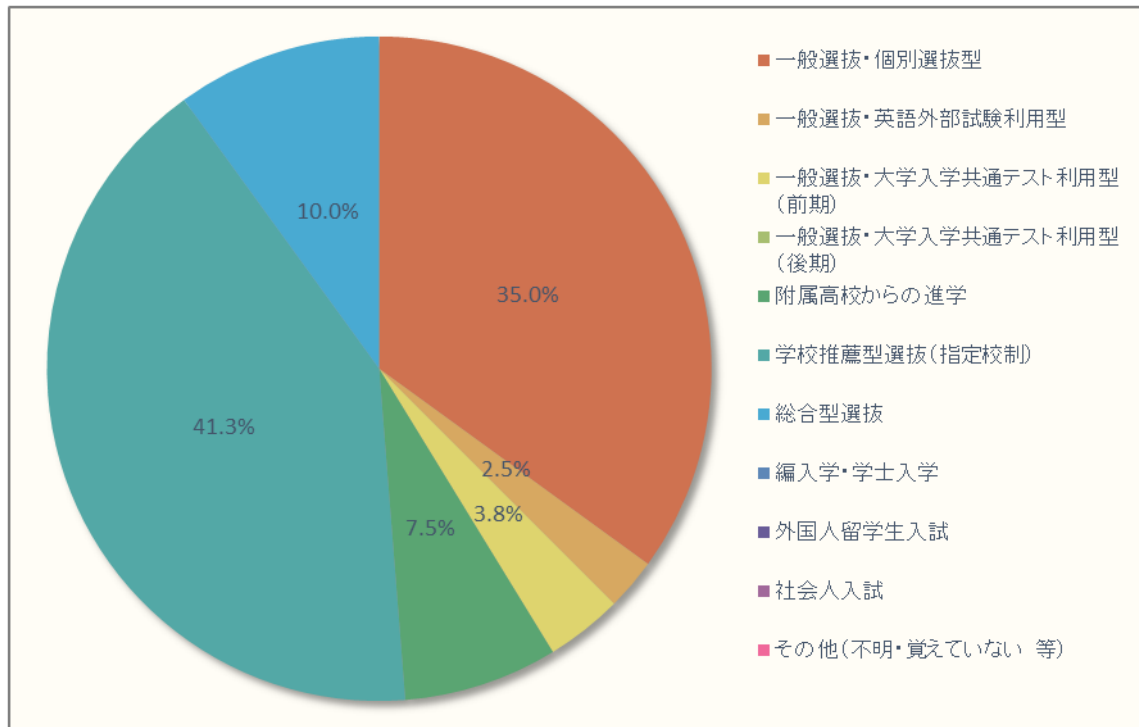
③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



15. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。



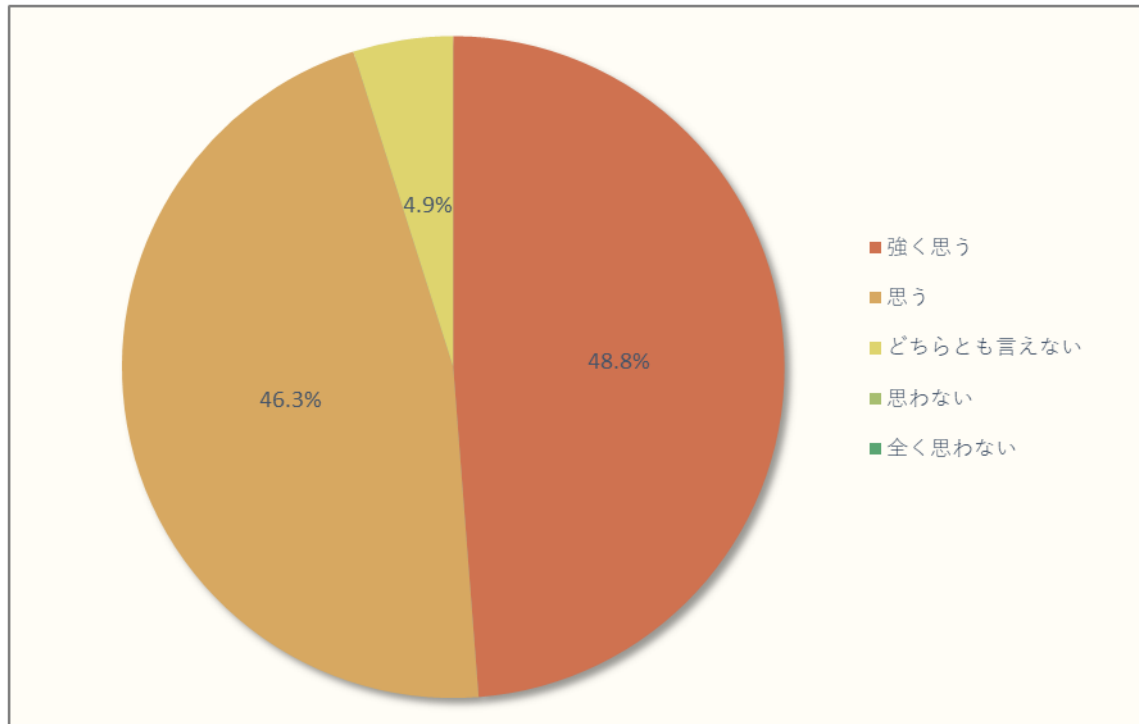
2024 年度卒業時アンケート調査（教育学科）

アンケート実施期間：2025/01/31(金) 00:00 ～2025/02/14(金) 23:59

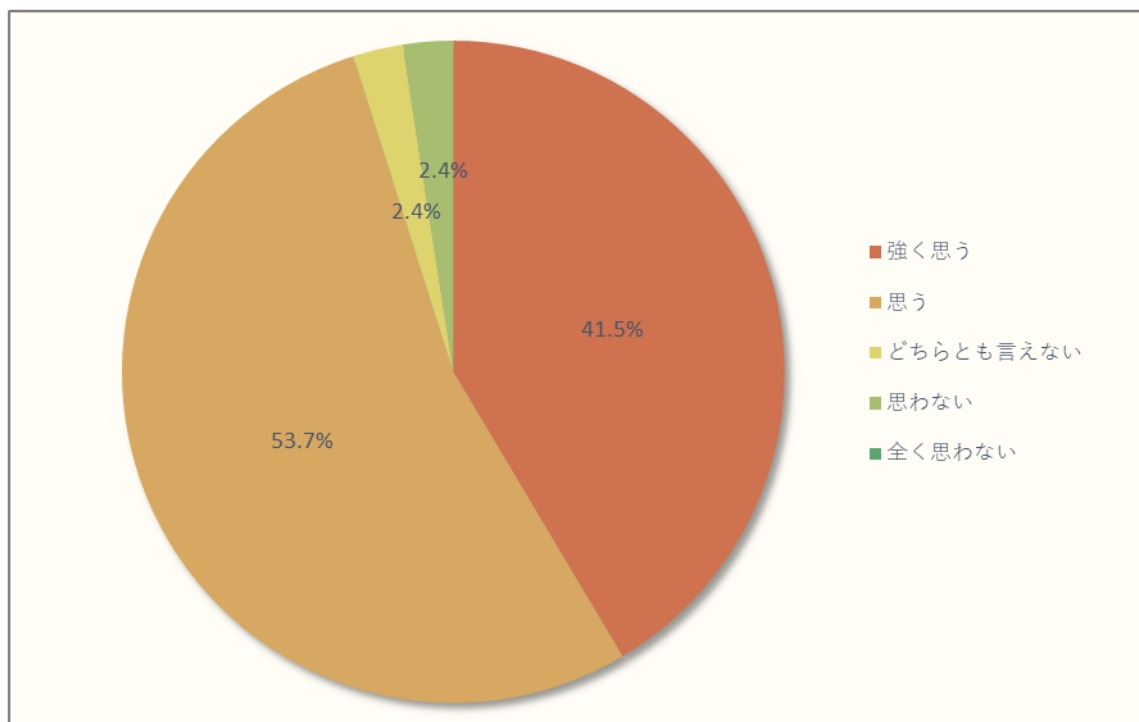
対象者数：93 名 回答者数：41 名 回答率：44.1%

教育学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？〔教育学科DP〕

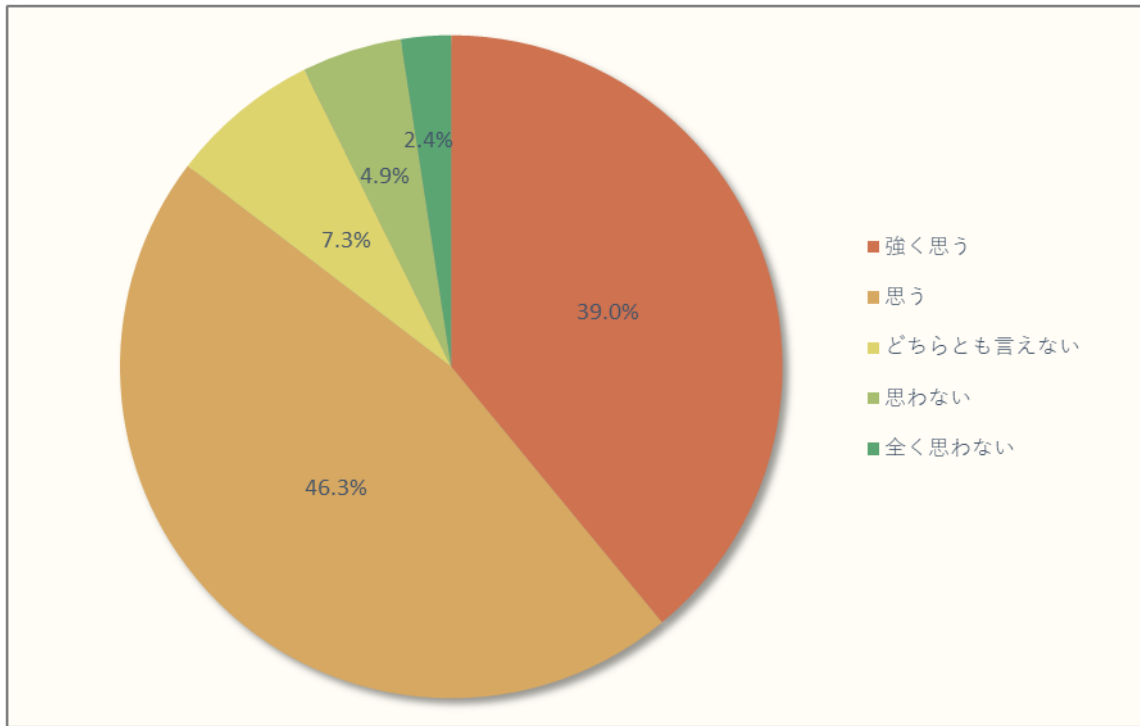
1. 教育に関わる幅広い学問領域について、基礎的な知識・技能を修得している。【大学 DP1】



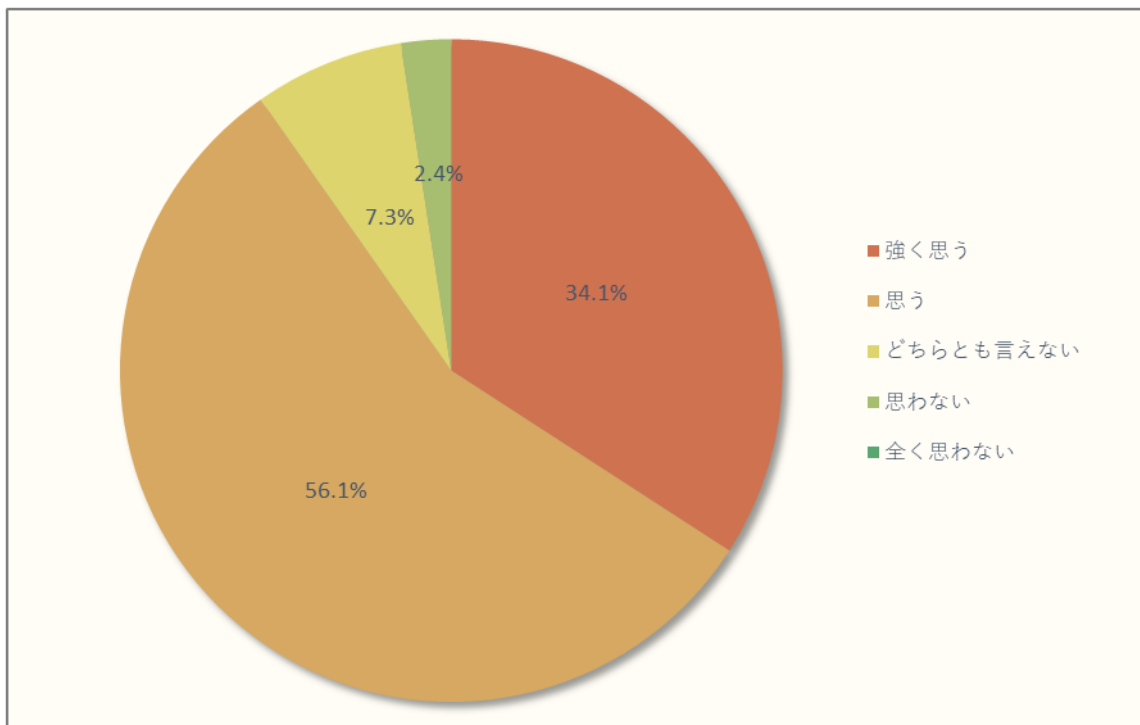
2. 学校教育の意義や教師の役割を踏まえ、社会と教育の変化に対応するために必要な知識と技能を修得している。【大学 DP1】



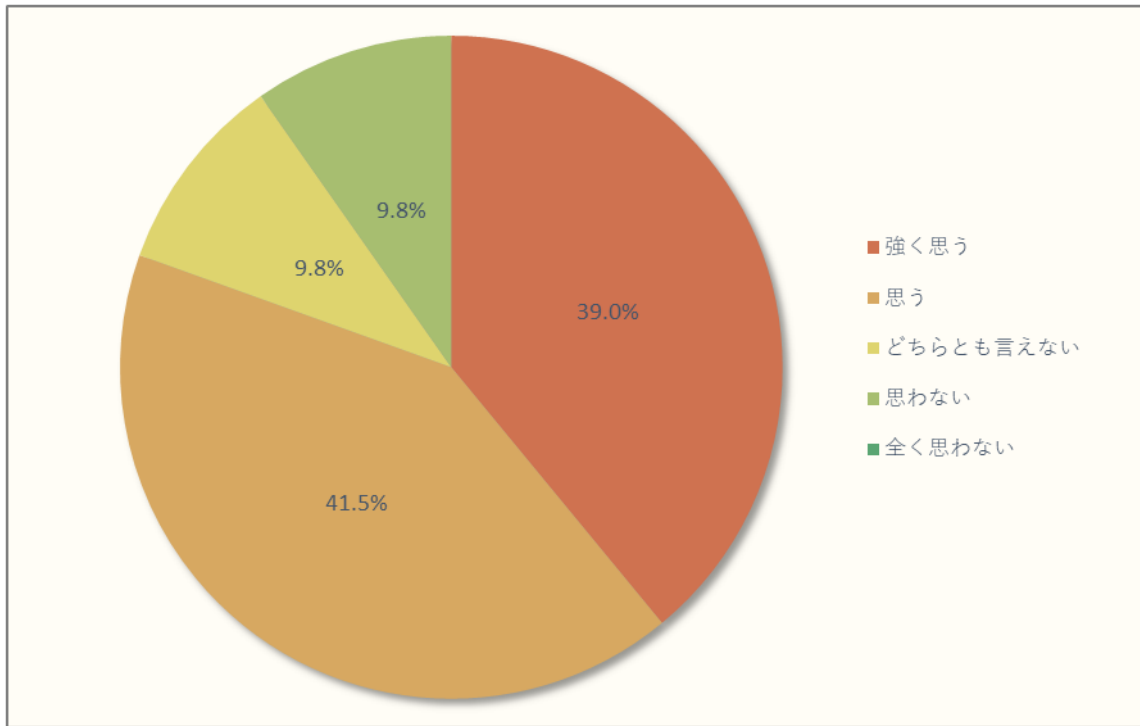
3. 教育的事象や社会の諸問題を、教育に関わる幅広い学問領域に基づく視点と方法論を用いて論理的に説明できる。【大学 DP2】



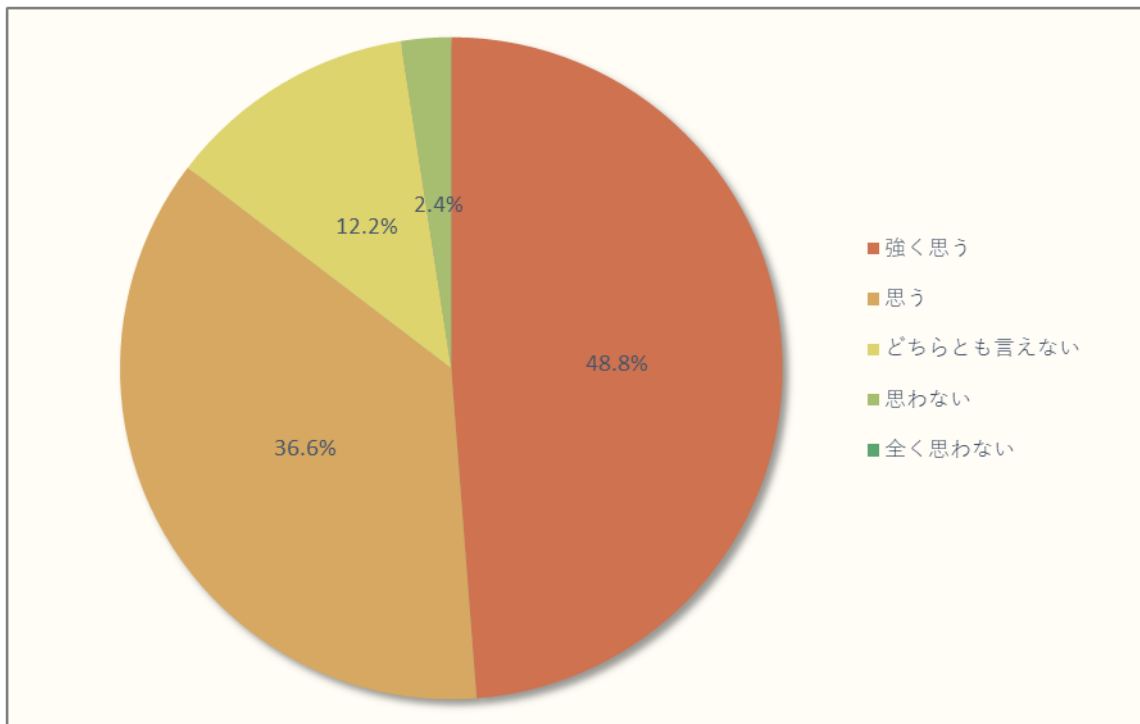
4. 人間と社会の可能性を理解し、教育の望ましいあり方について専門的知識を教育実践と結び付けて探究できる。【大学 DP2】



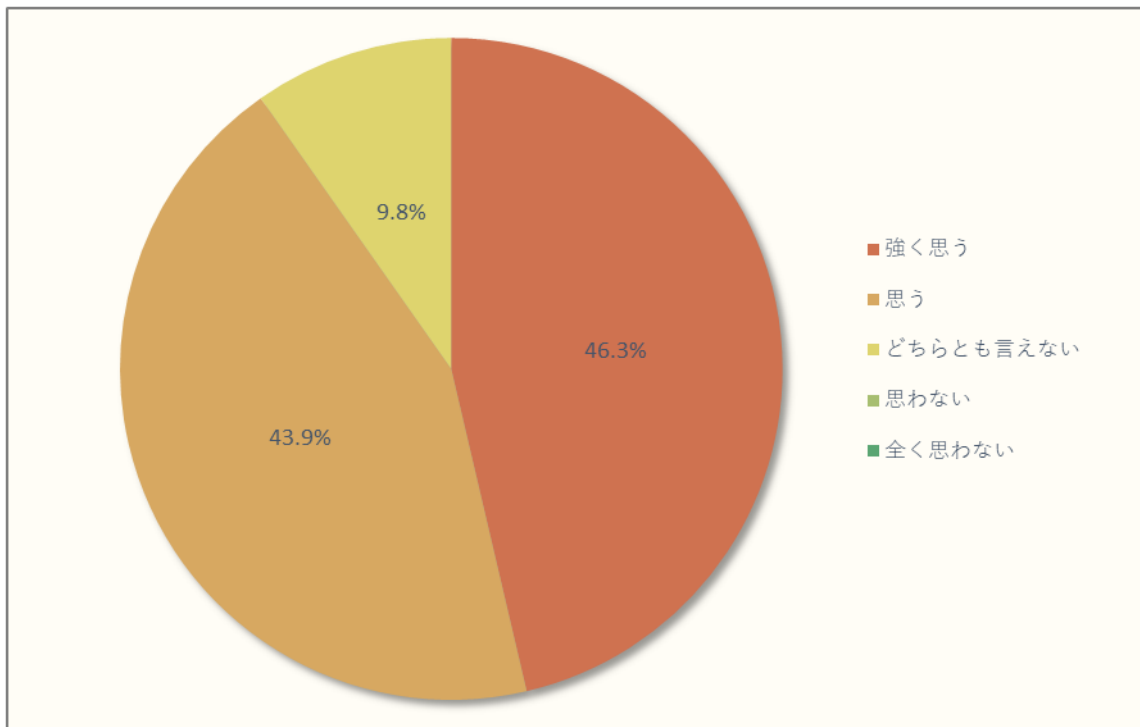
5. 専門的知識を活用し、学修者のライフステージに応じた教育を行ったり学びを支援したりする力を修得している。【大学 DP3・4・5】



6. 教育を核とする社会システムを、他者と協働しよりよく発展させていく態度を身につけている。【大学 DP3・4・5】

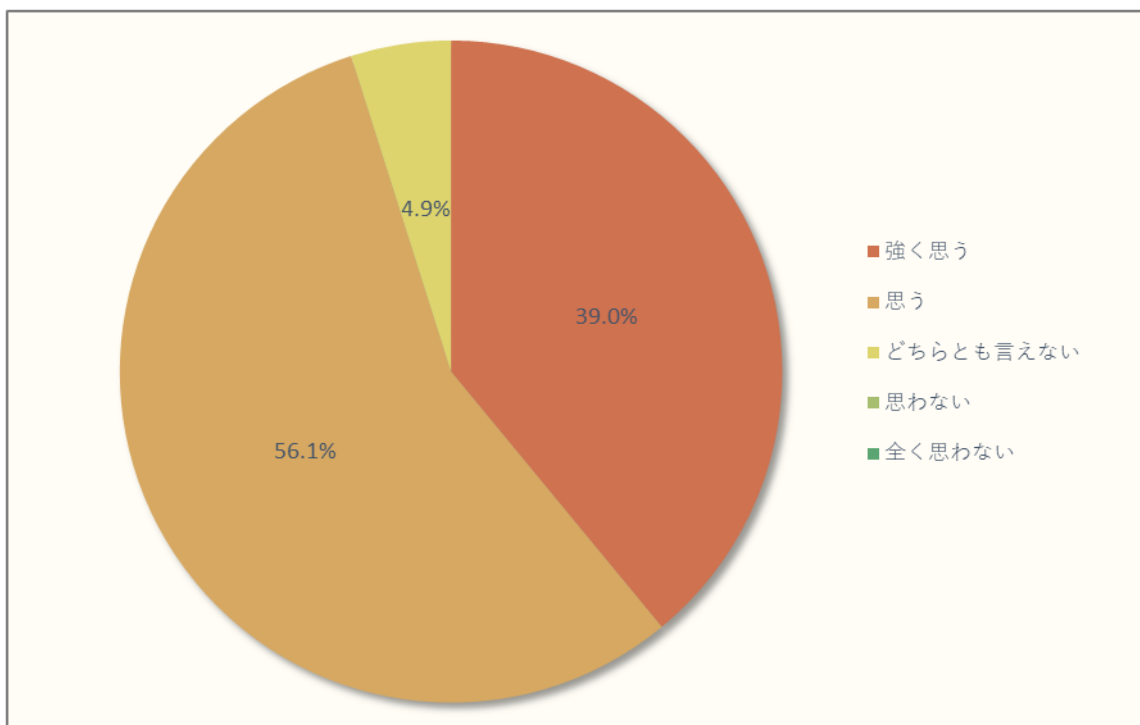


7. 自らの成長や役割のための新たな学びを持続可能な形で継続する態度を身につけている。【大学 DP3・4・5】

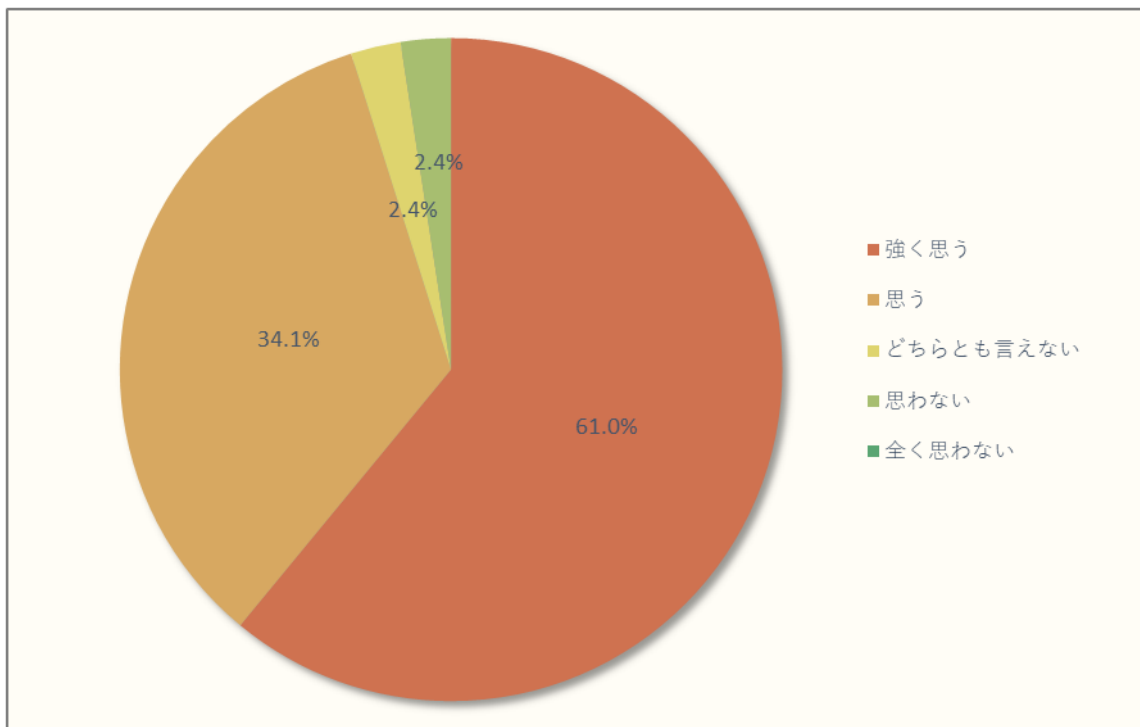


本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ 【教養特別講義DP】

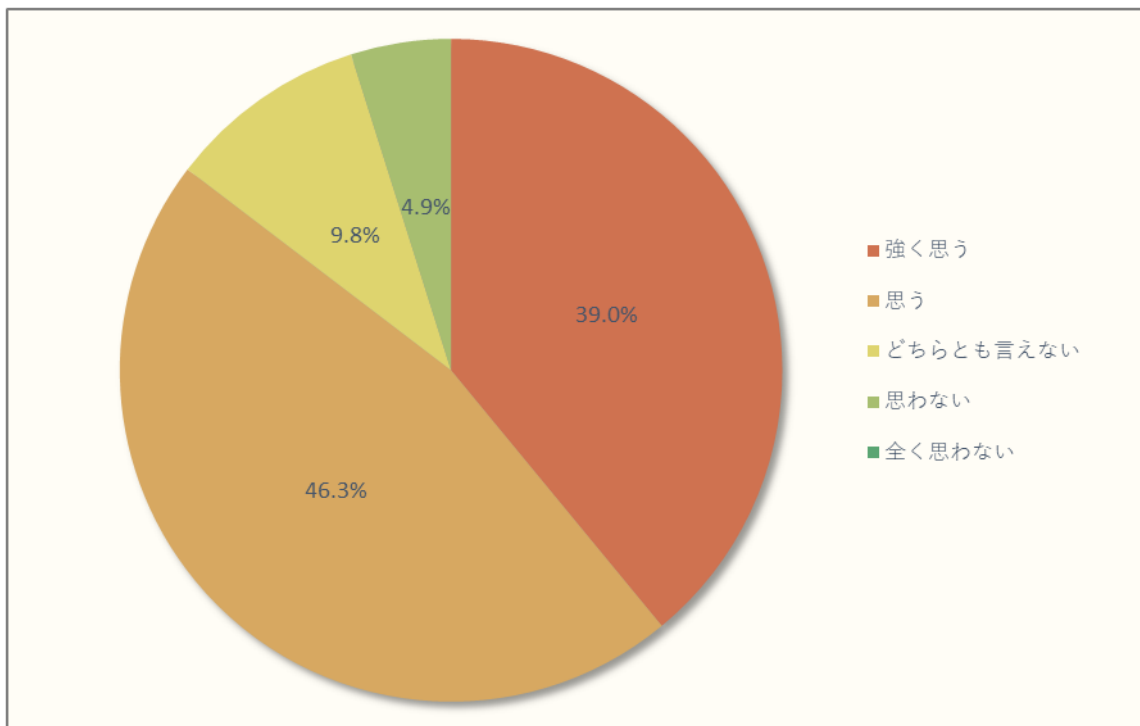
8. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



9. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。
日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

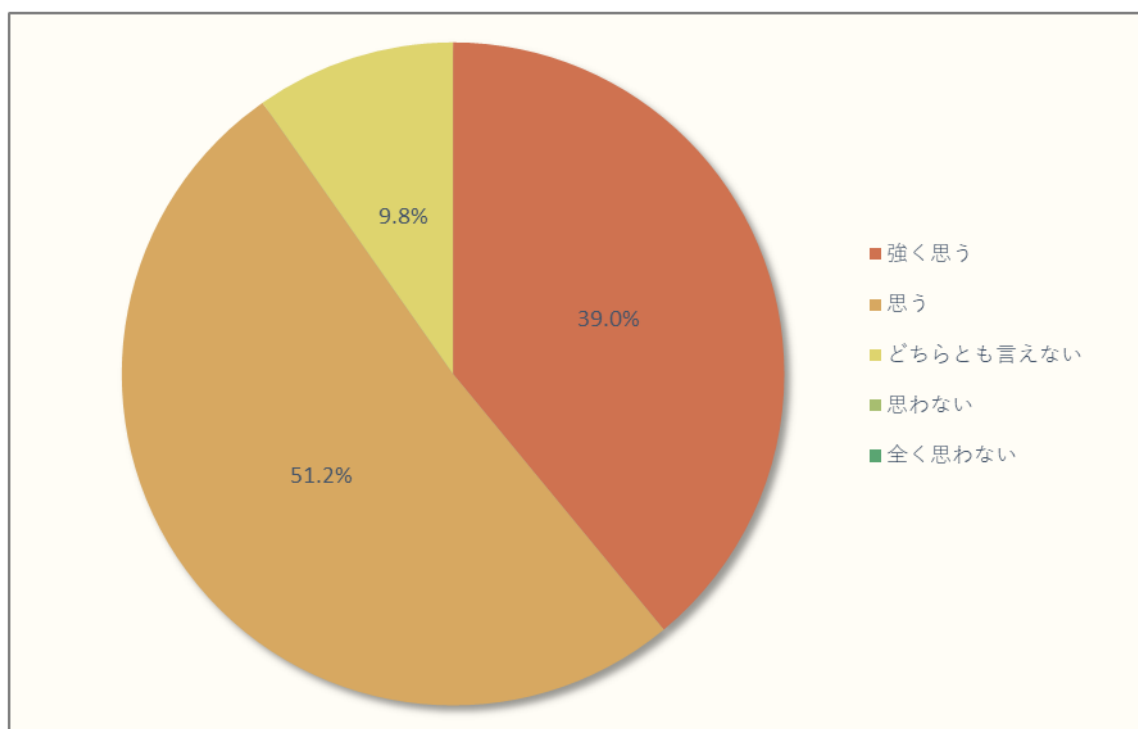


10. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。

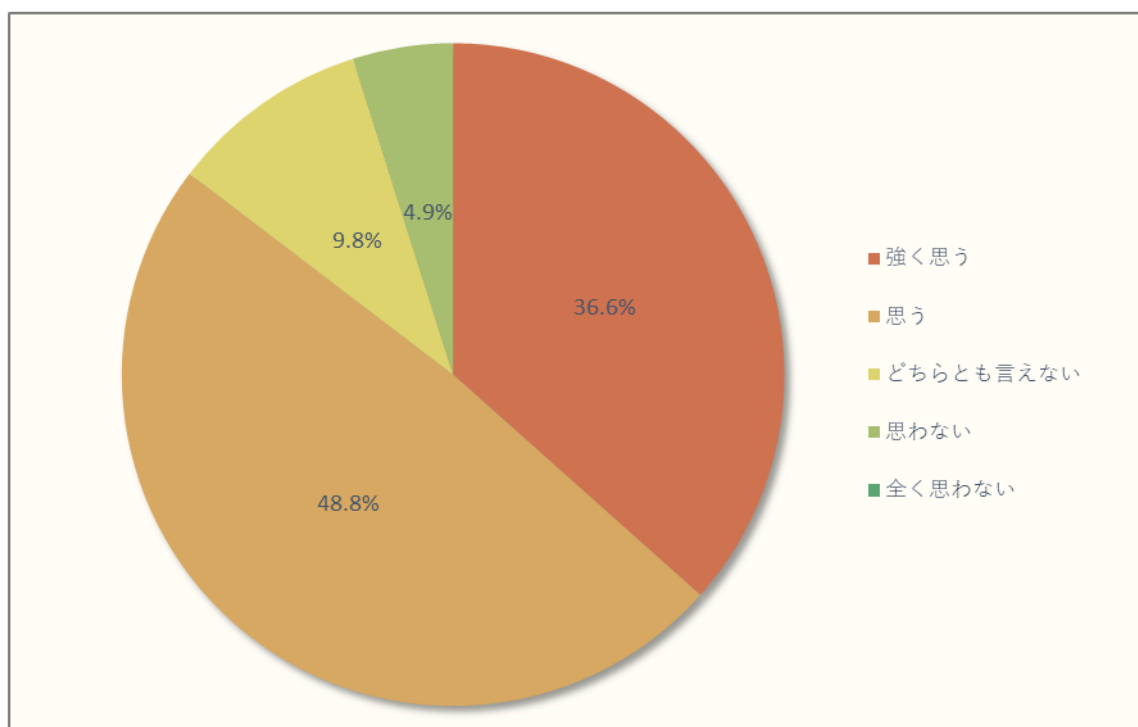


11. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

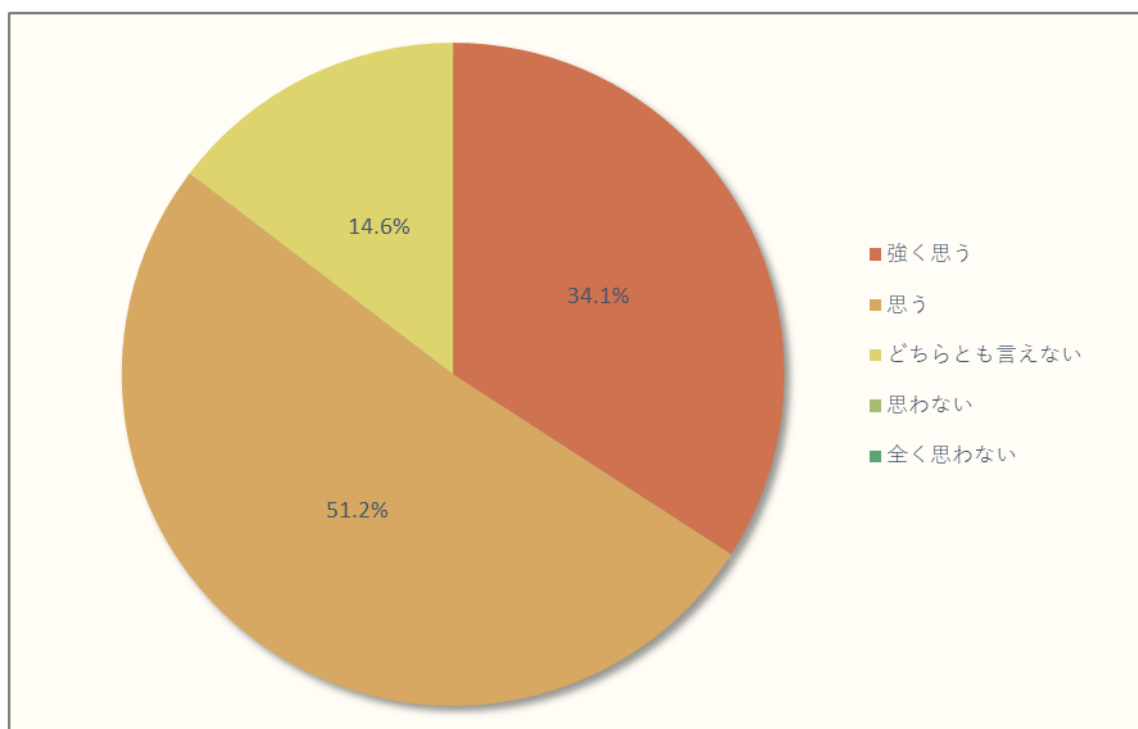
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



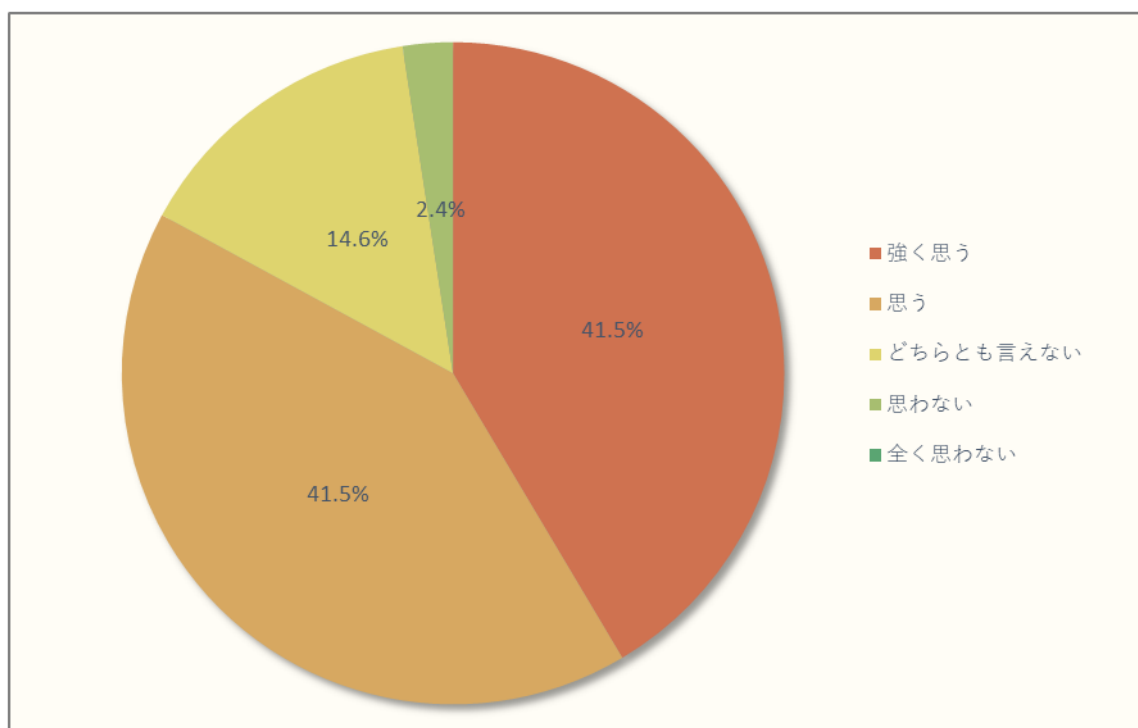
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



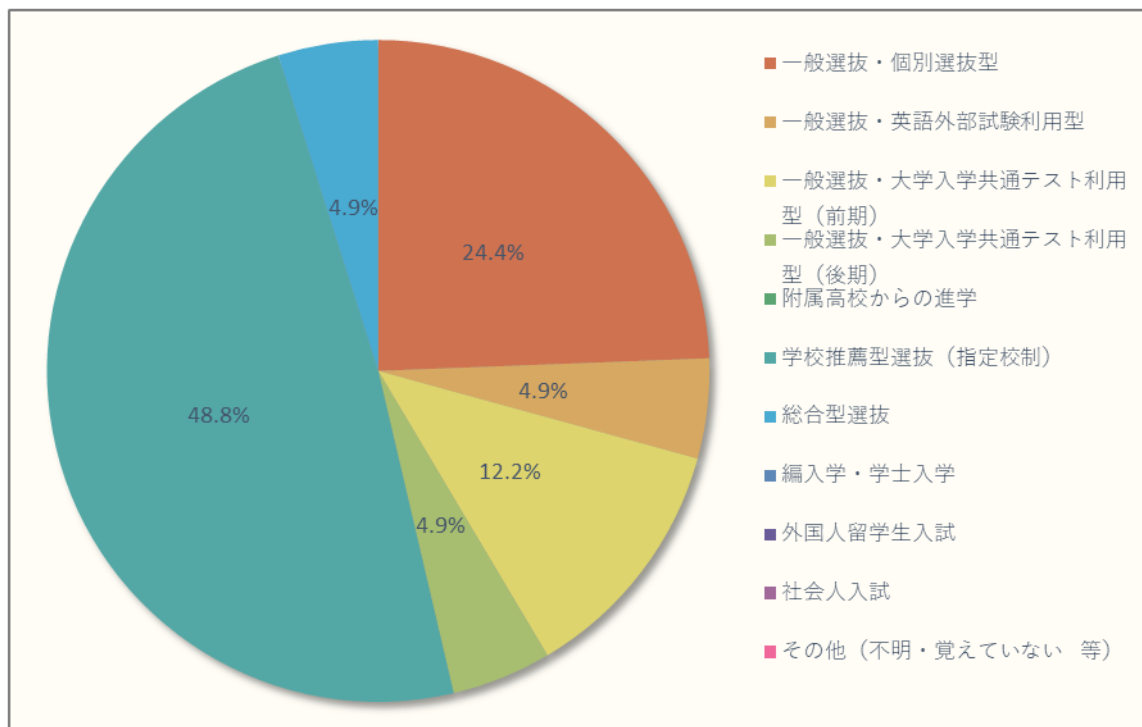
③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



12. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。



2024 年度卒業時アンケート調査（心理学科）

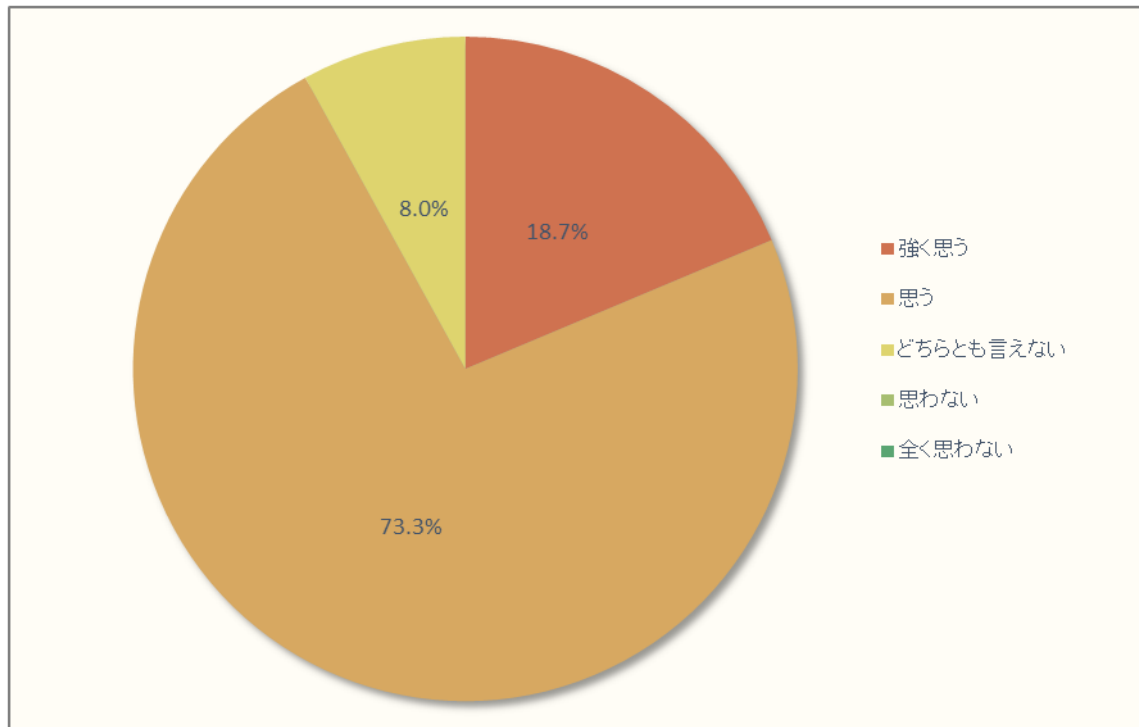
アンケート実施期間：2025/01/20(月) 00:00 ～2025/01/27(月) 23:59

対象者数：80 名 回答者数：75 名 回答率：93.8%

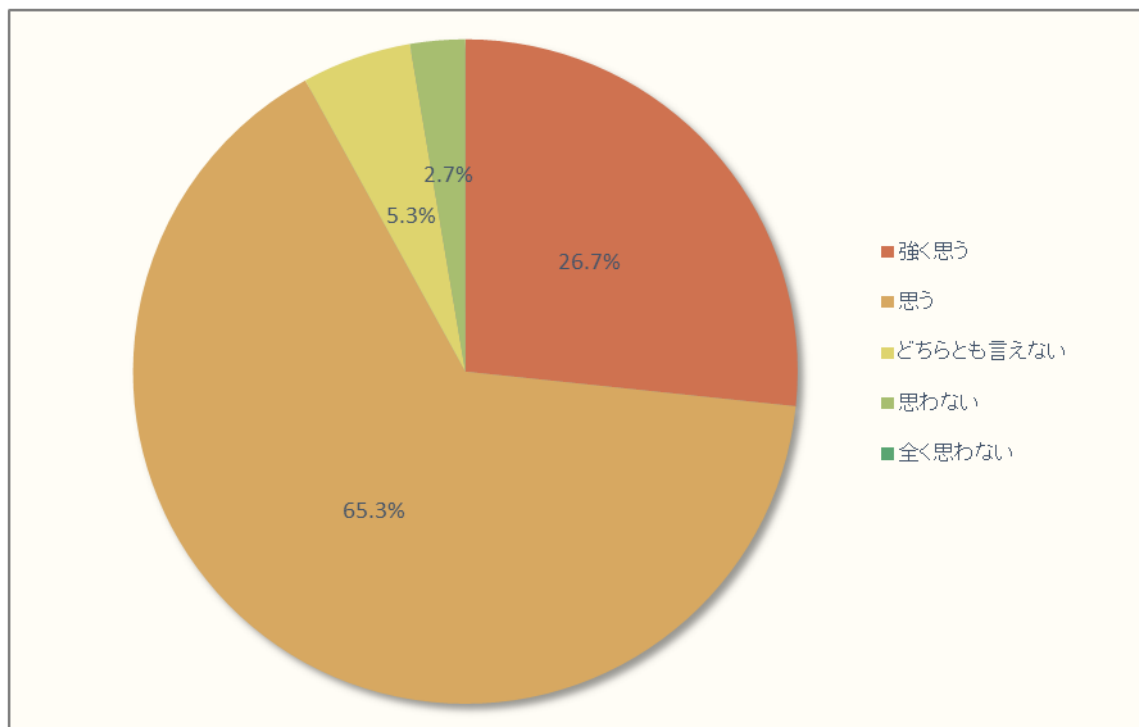
心理学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？[心理学科DP]

1. 人間の心の働きとその仕組みを、生物学的、個人的、社会・文化的な視点から包括的に理解できる。

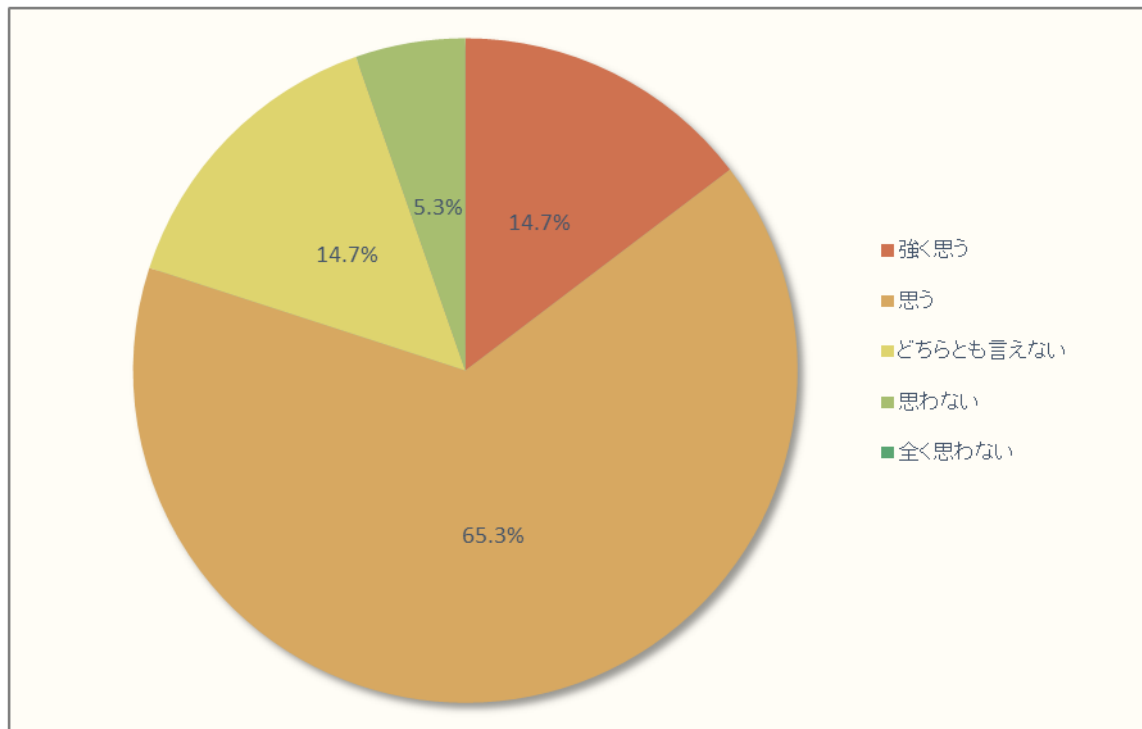
【大学 DP1・2】



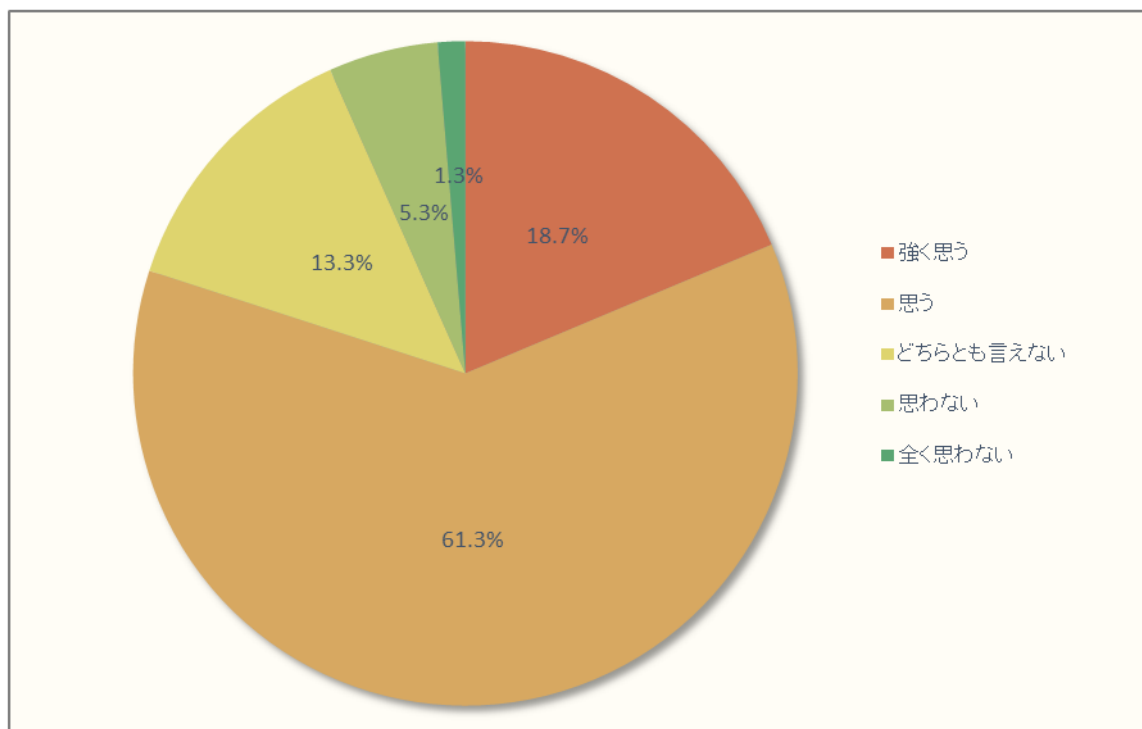
2. 心に関わる現象に対して、調査や実験などの科学的な研究法を適用し、実証的に探究できる。【大学 DP2】



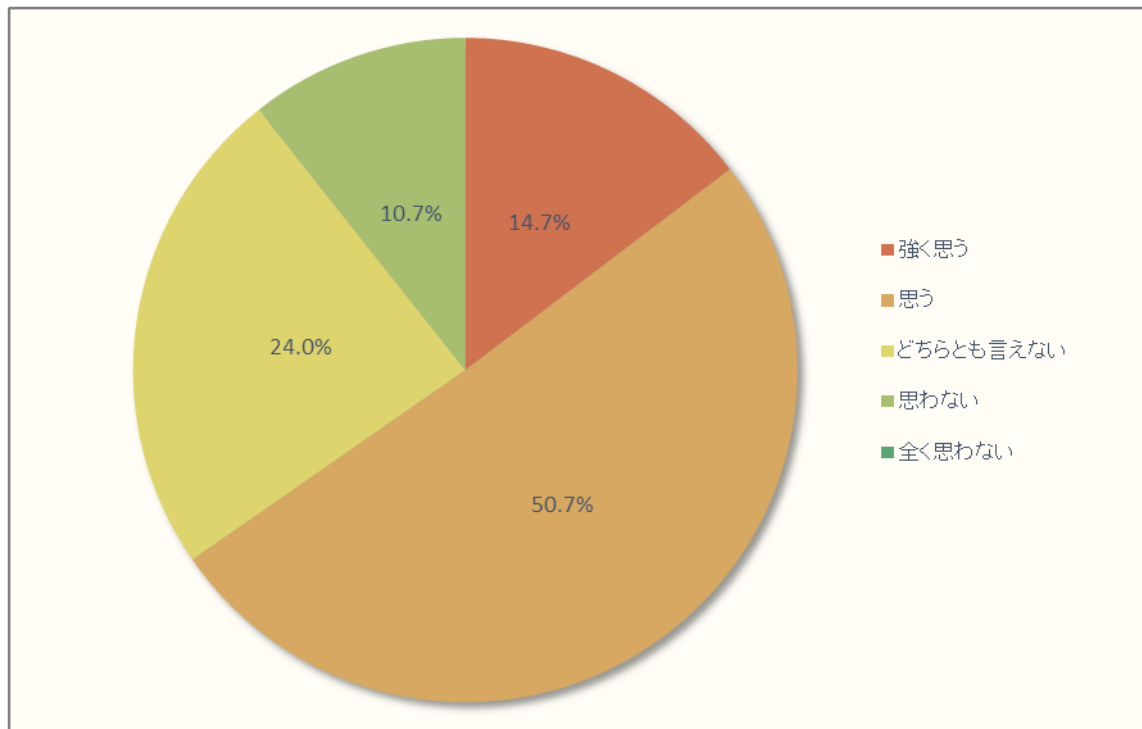
3. 人間が示す多様な心理学的現象を観察し、その心の働きに関する法則性を論理的に導き、新たな仮説の生成や検証ができる。【大学 DP1・2】



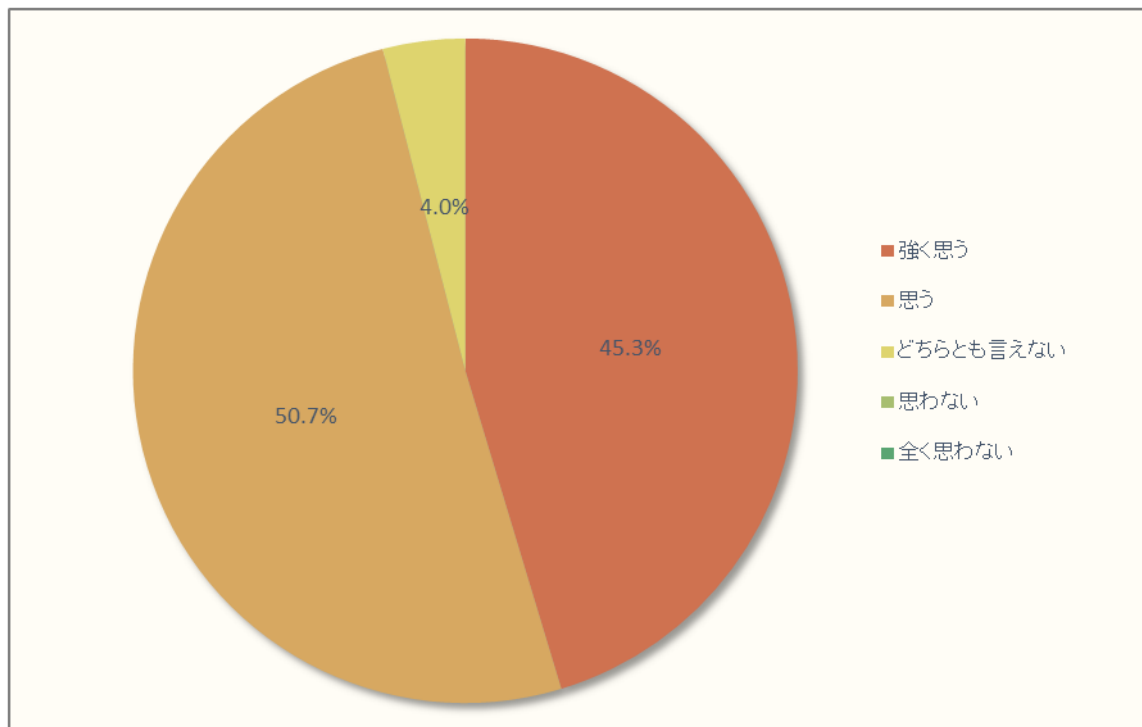
4. 心の働きと仕組みに関する国内外の知見を活用し、社会的・科学的な問いを発見・提起できる。【大学 DP2・4・5】



5. 人間の行動現象に対する解析能力を持ち、ICT や統計的手法を自律的に活用して表現できる。【大学 DP2・3・5】

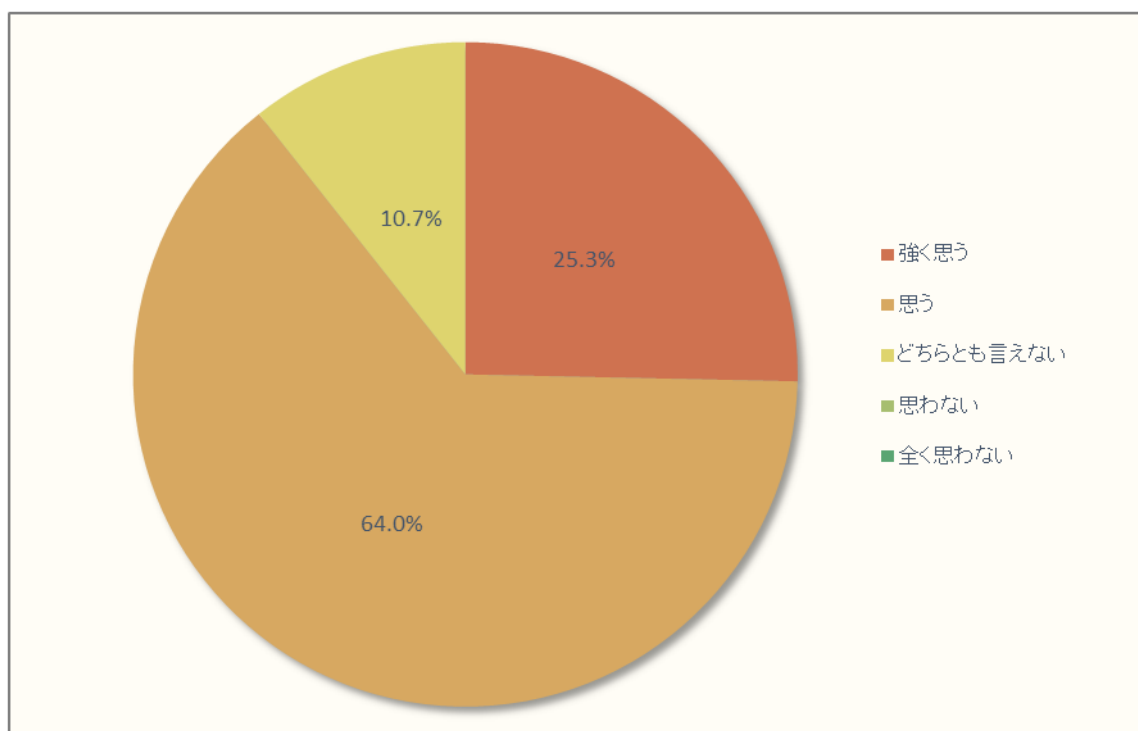


6. 多様な背景を持つ人々に関心を寄せ、協働のためのコミュニケーションを柔軟にとることができる。【大学 DP2・3・4】

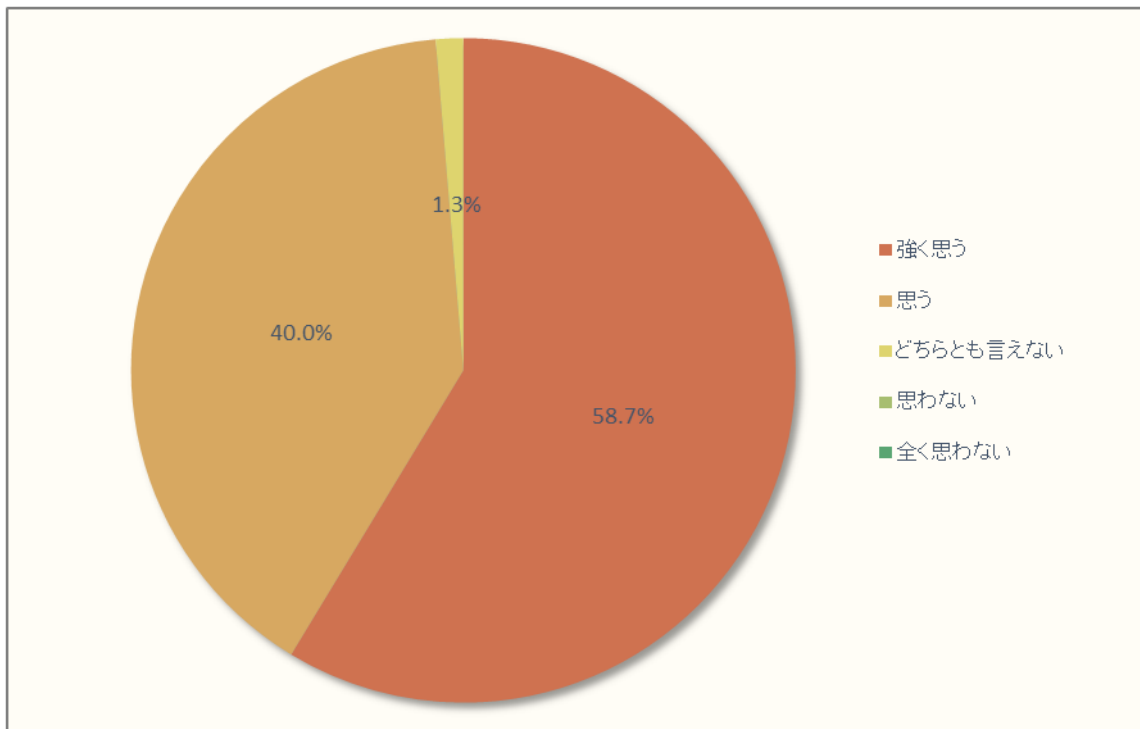


本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [教養特別講義DP]

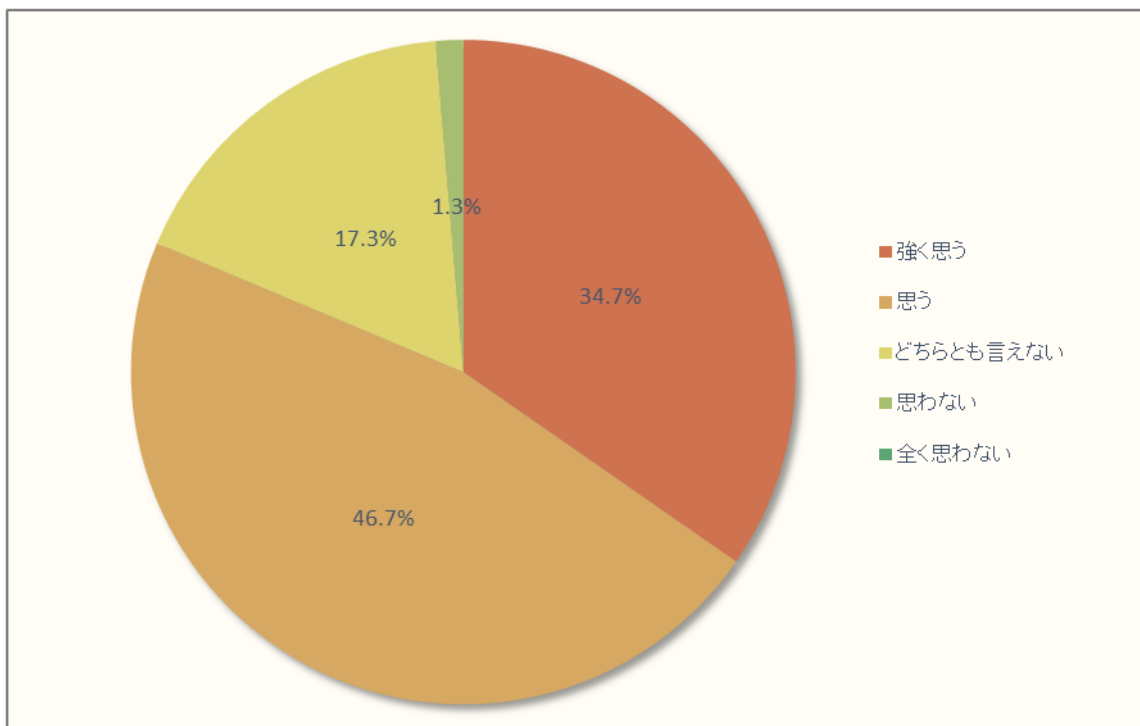
7. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



8. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。
日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

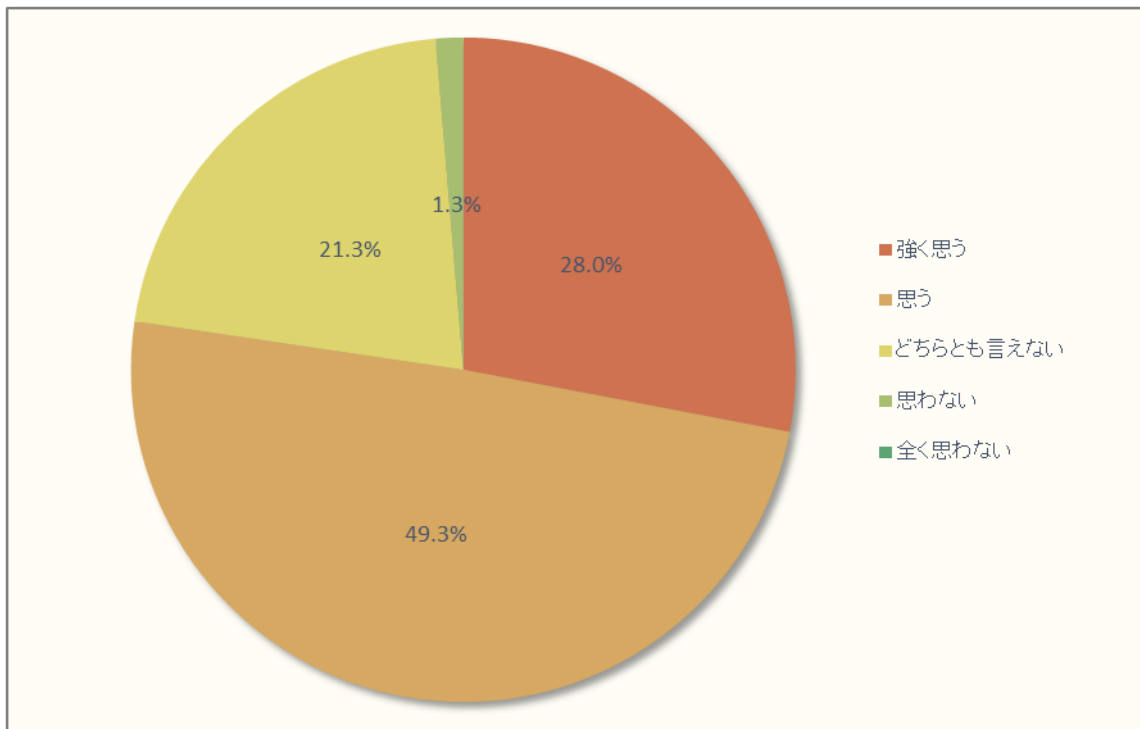


9. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。
日本女子大学の施設設備に満足していますか？

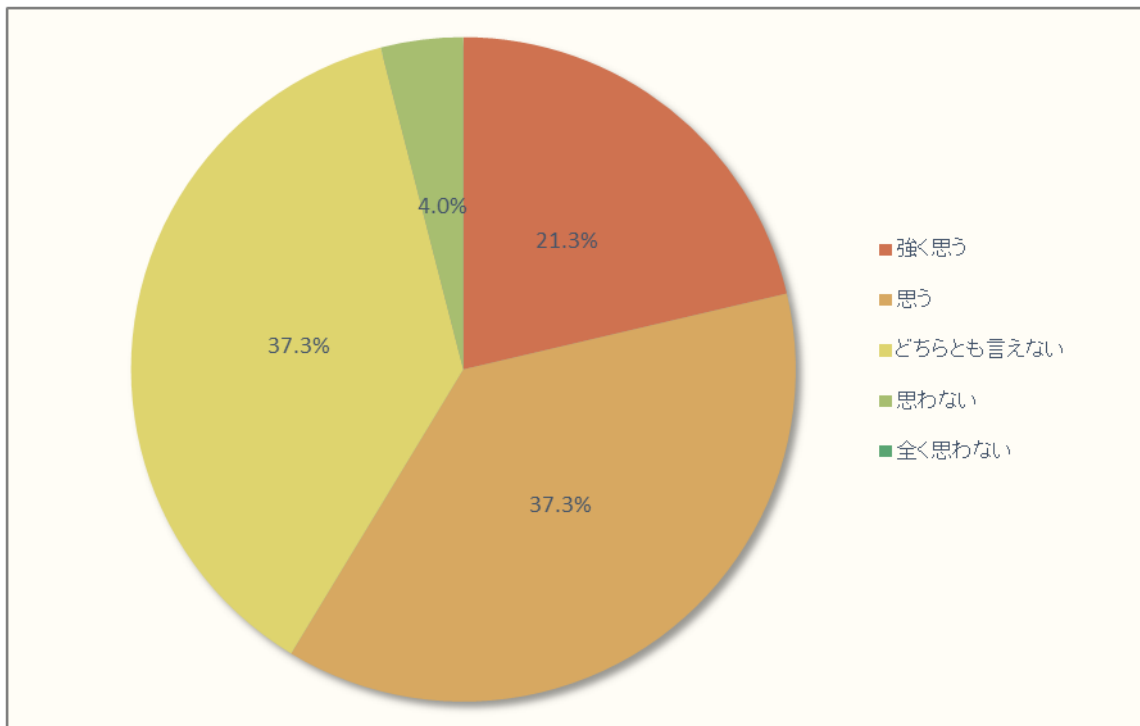


10. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

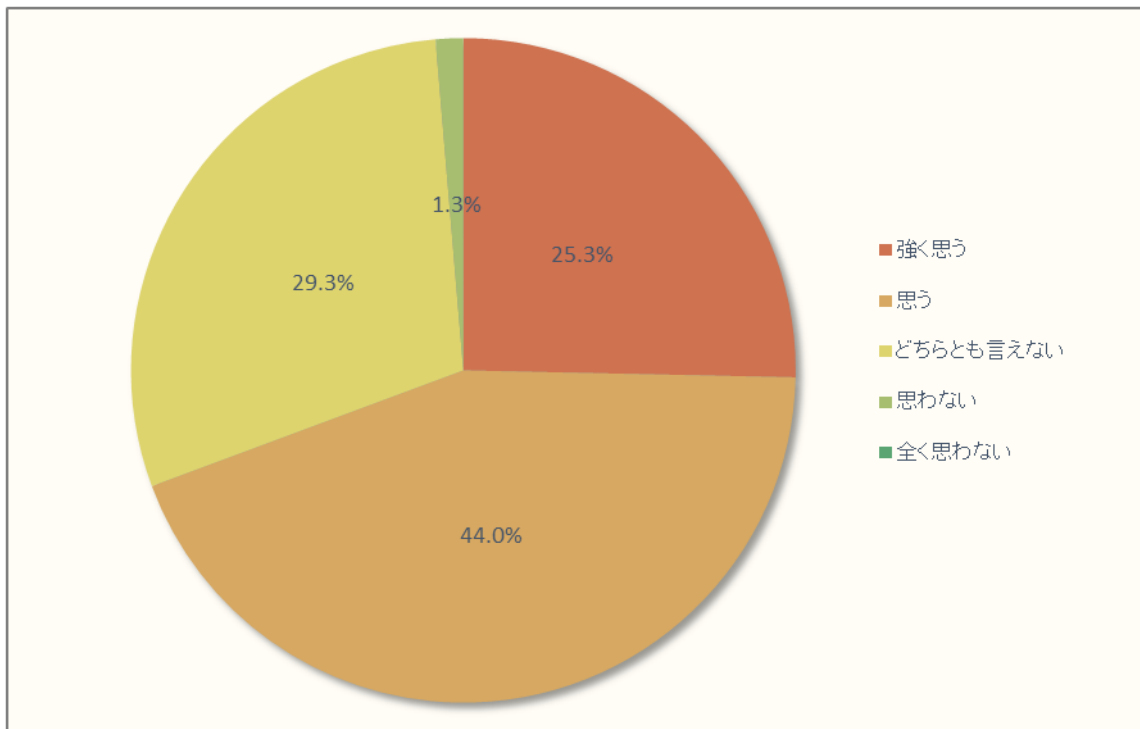
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



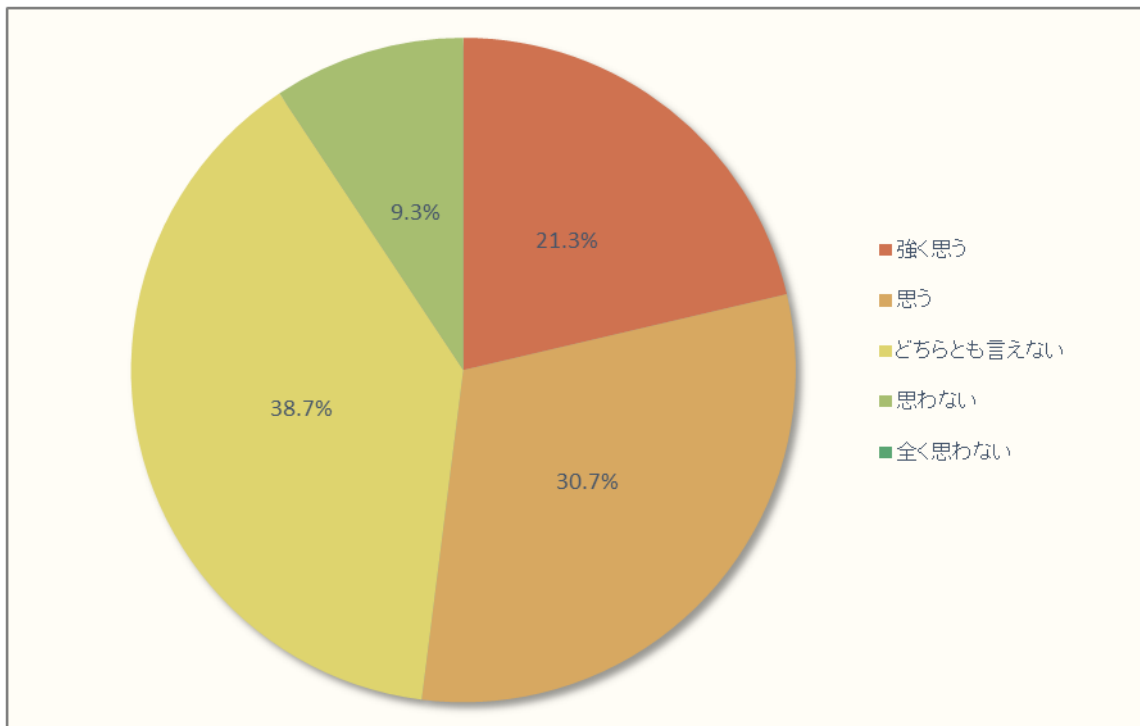
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



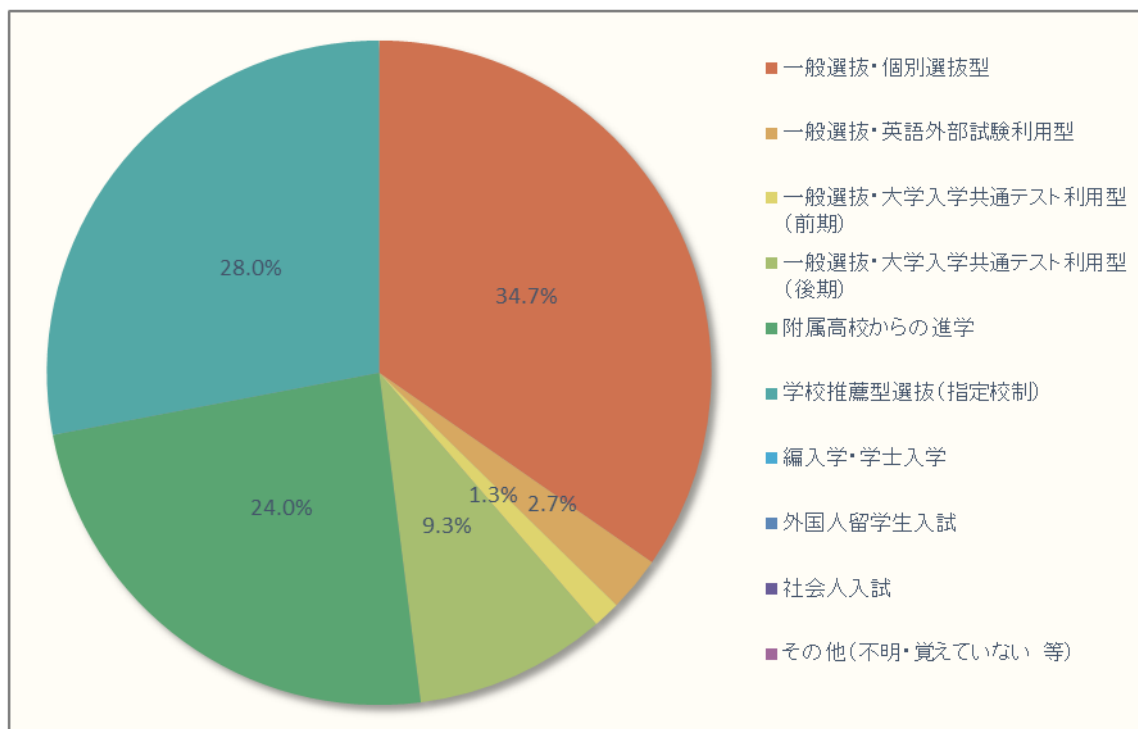
③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



11. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。



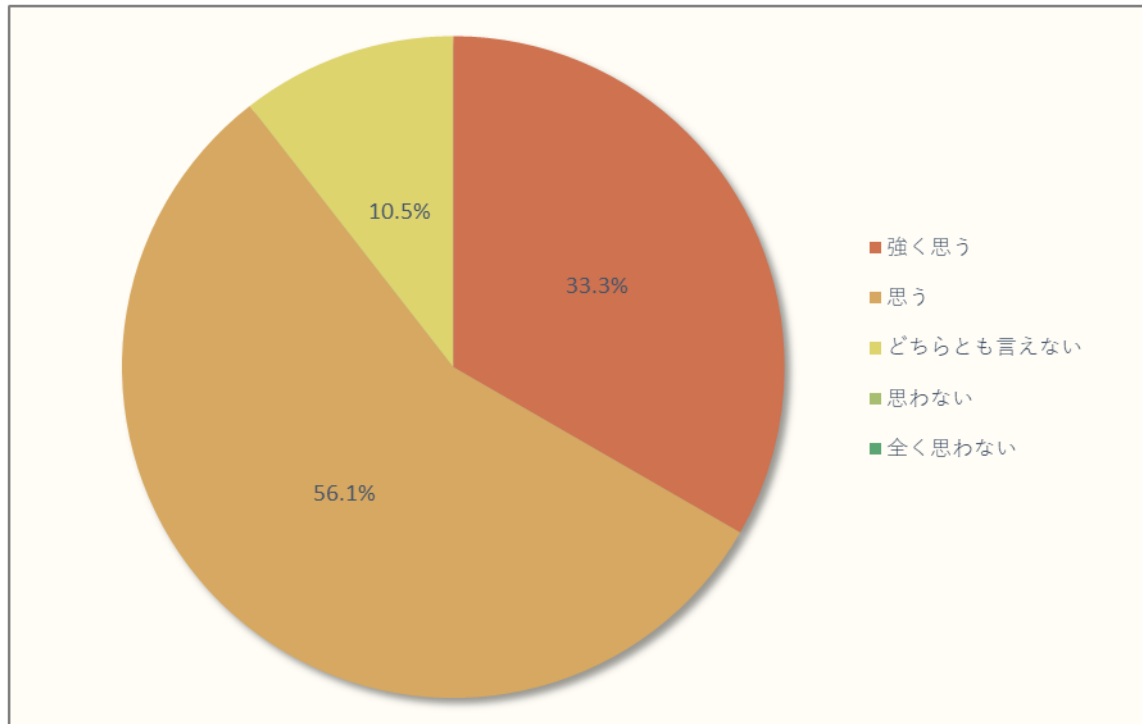
2024 年度卒業時アンケート調査（文化学科）

アンケート実施期間：2025/01/31(金) 00:00 ～2025/02/14(金) 23:59

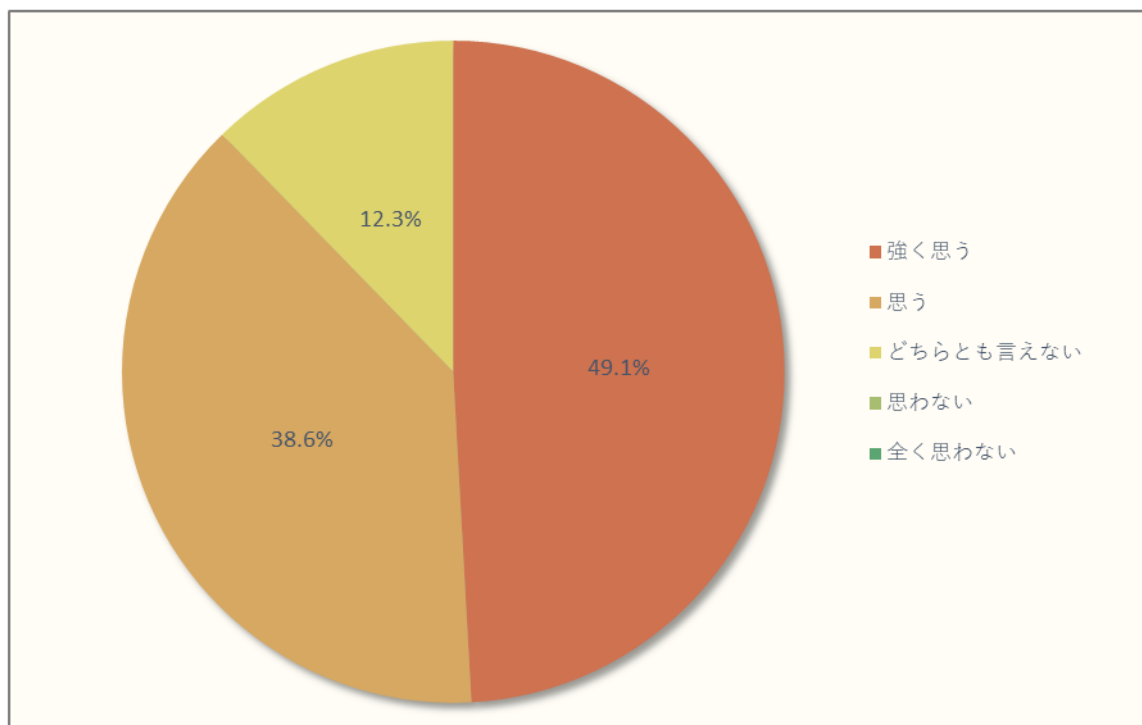
対象者数：128 名 回答者数：57 名 回答率：44.5%

文化学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？[文化学科DP]

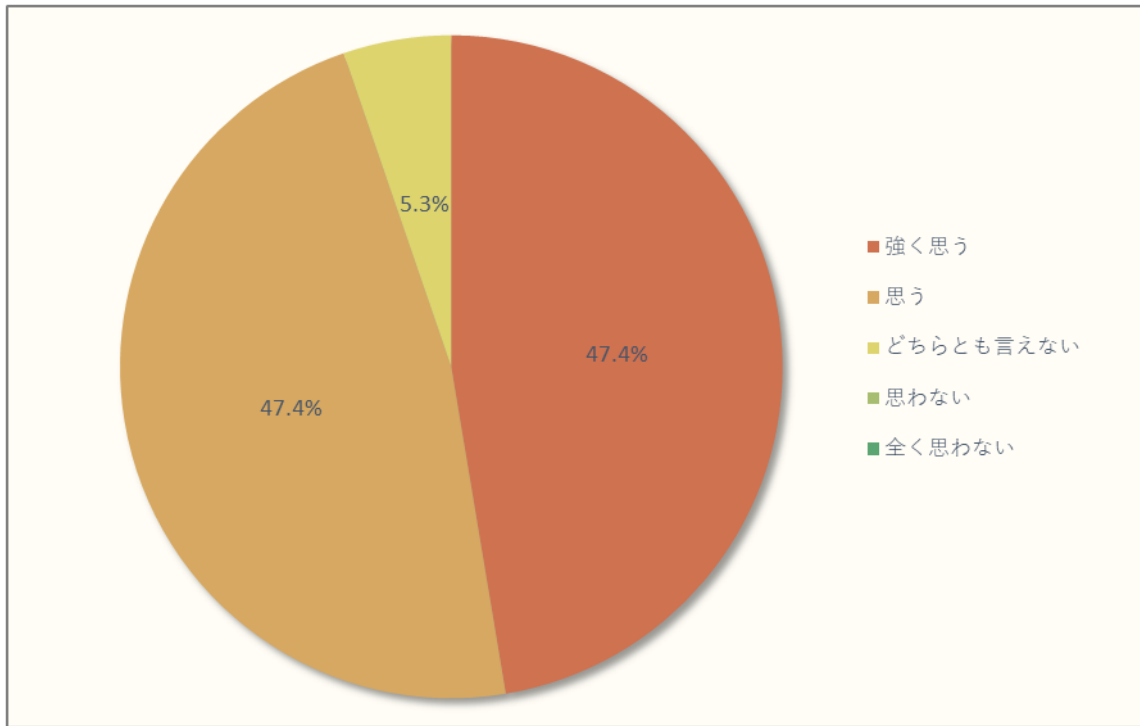
1. 自他の文化に関する、その背景知をも含めた専門的知識と教養を身につけている。【大学 DP1】



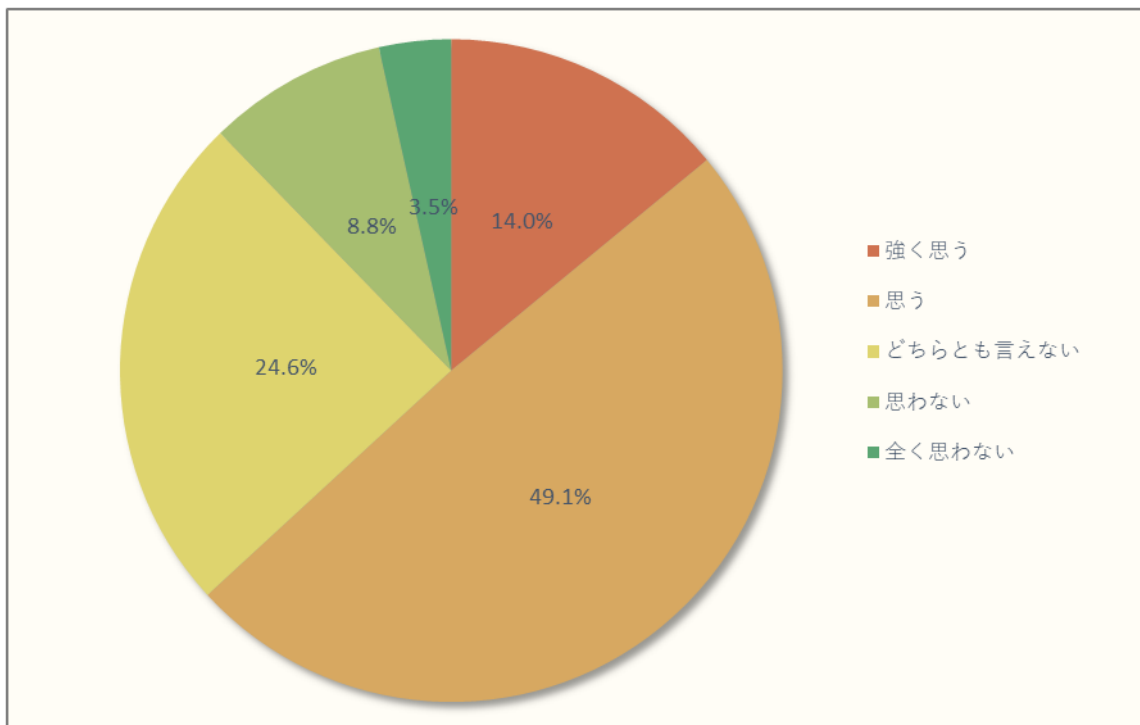
2. 自他の文化の多様性および相互の関係性について、論理的に判断するとともに、創造的に思考することができる。【大学 DP2】



3. 多様な文化現象に対して柔軟な理解と共感を示し、常にそれらを学際的な視点から探究する視野を身につける。【大学 DP3・4】

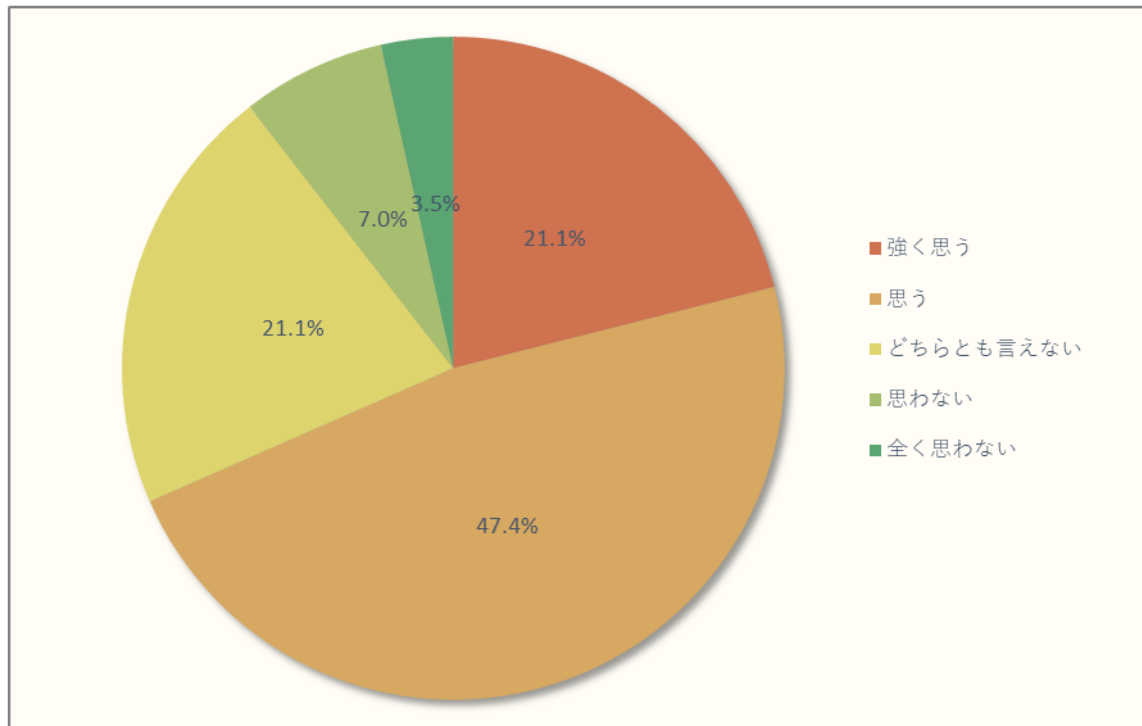


4. 文化研究を通して得られた認識の成果を論理的にまとめ、国際的な場においても発表することができる言語表現能力を持っている。【大学 DP3・4・5】



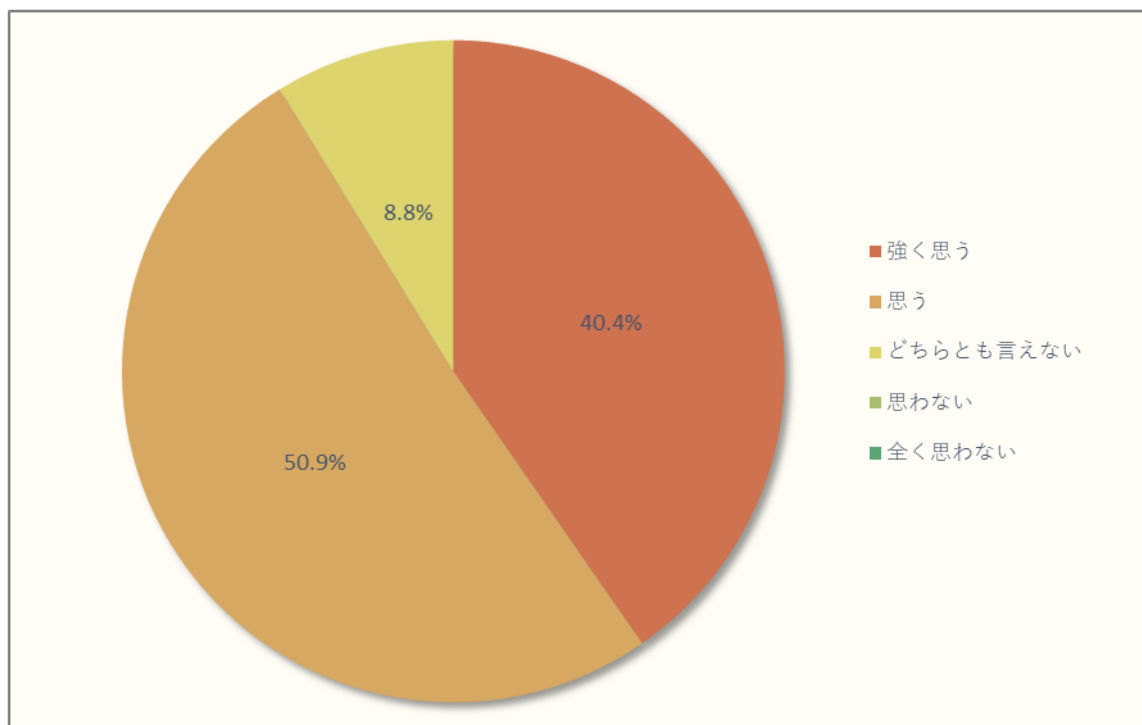
5. 自ら問題を設定して取り組む意欲、その結果得られた知見について、国際的な場においても発表することができる意欲を持つ。【大学 DP5】

人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。



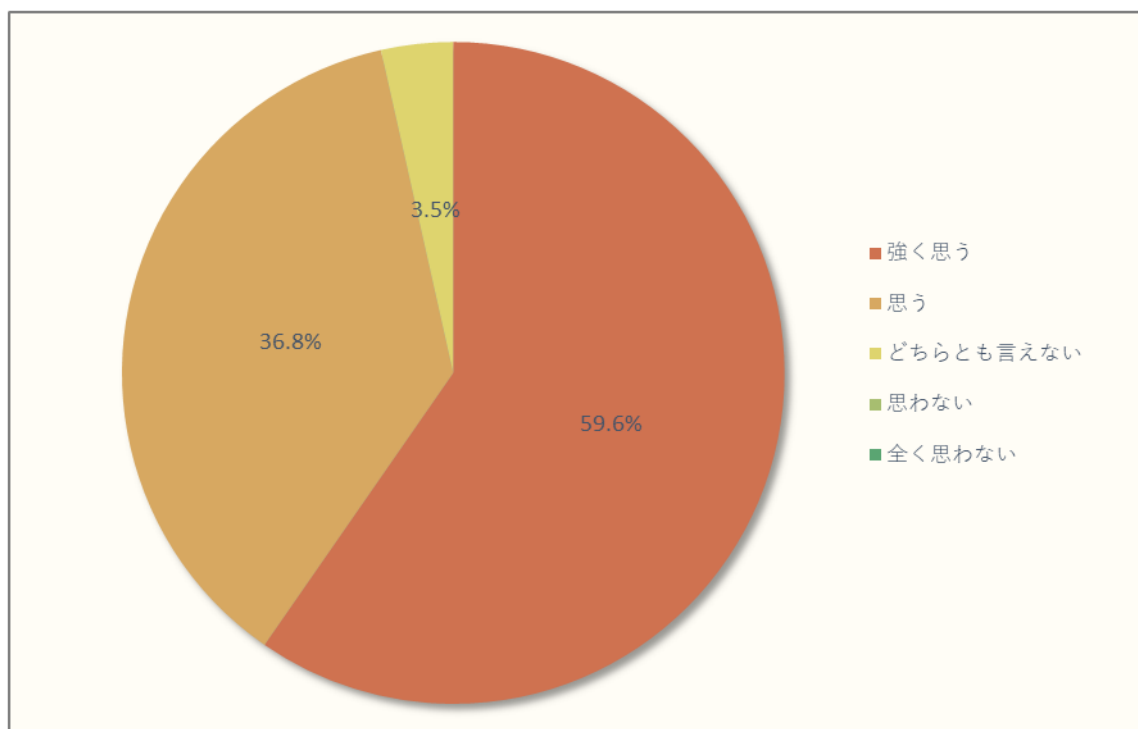
本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ 【教養特別講義DP】

6. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



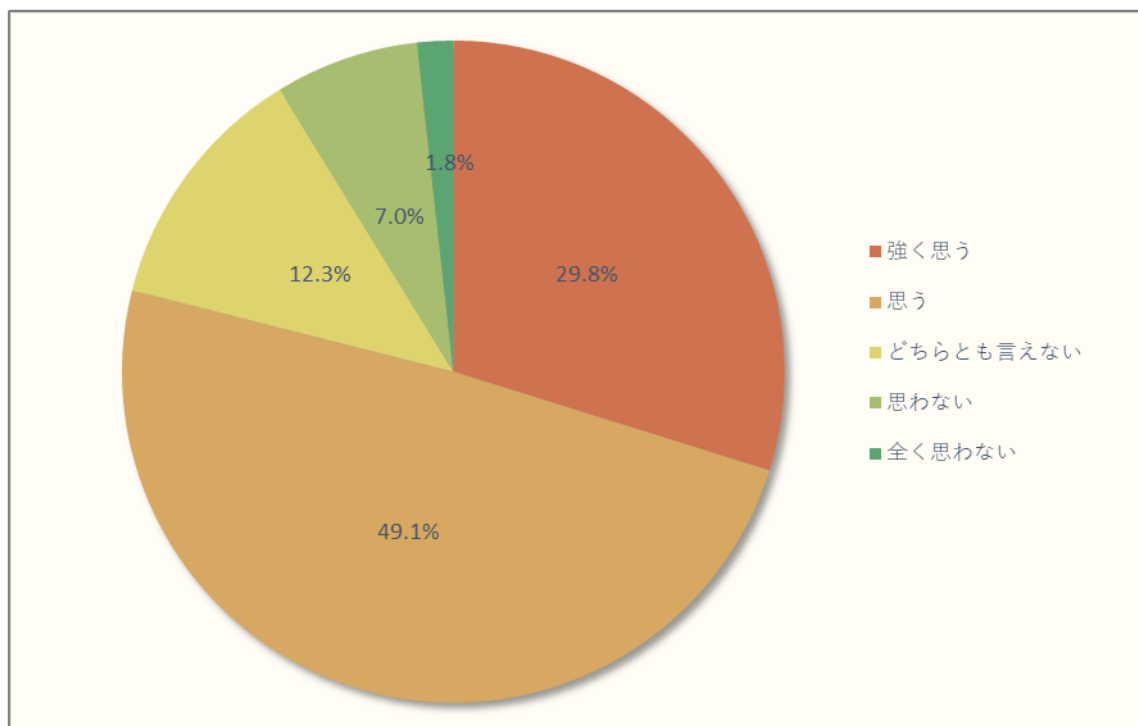
7. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。

日本女子大学で学んで良かったと思いますか？



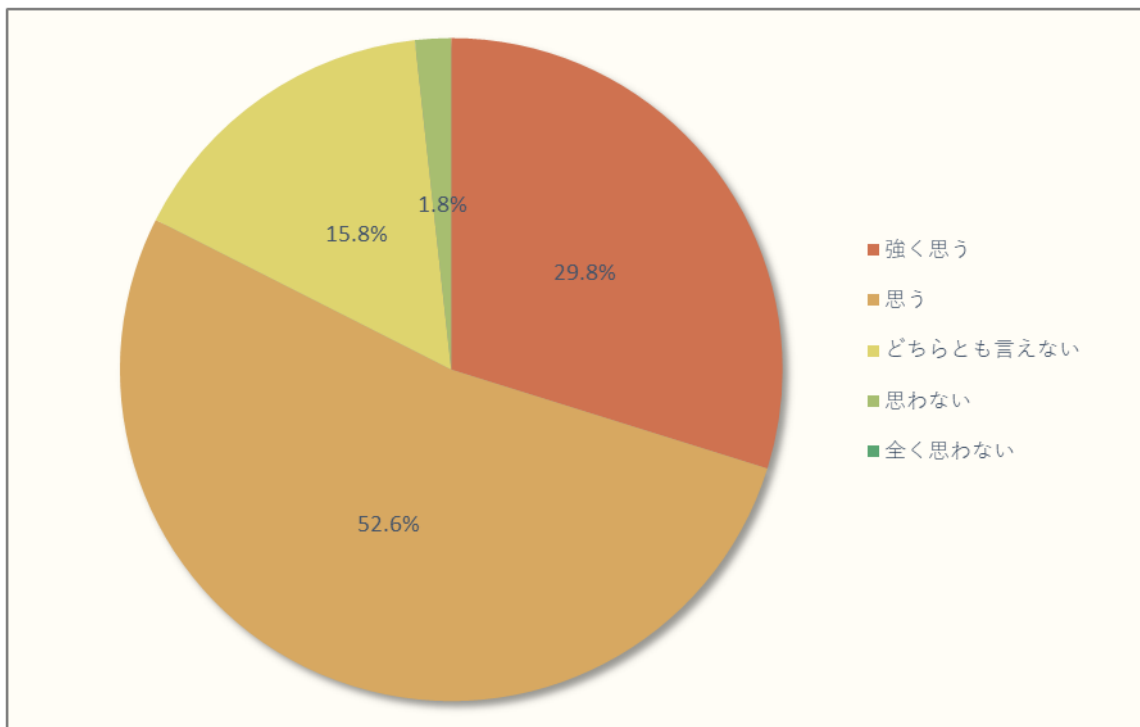
8. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。

日本女子大学の施設設備に満足していますか？

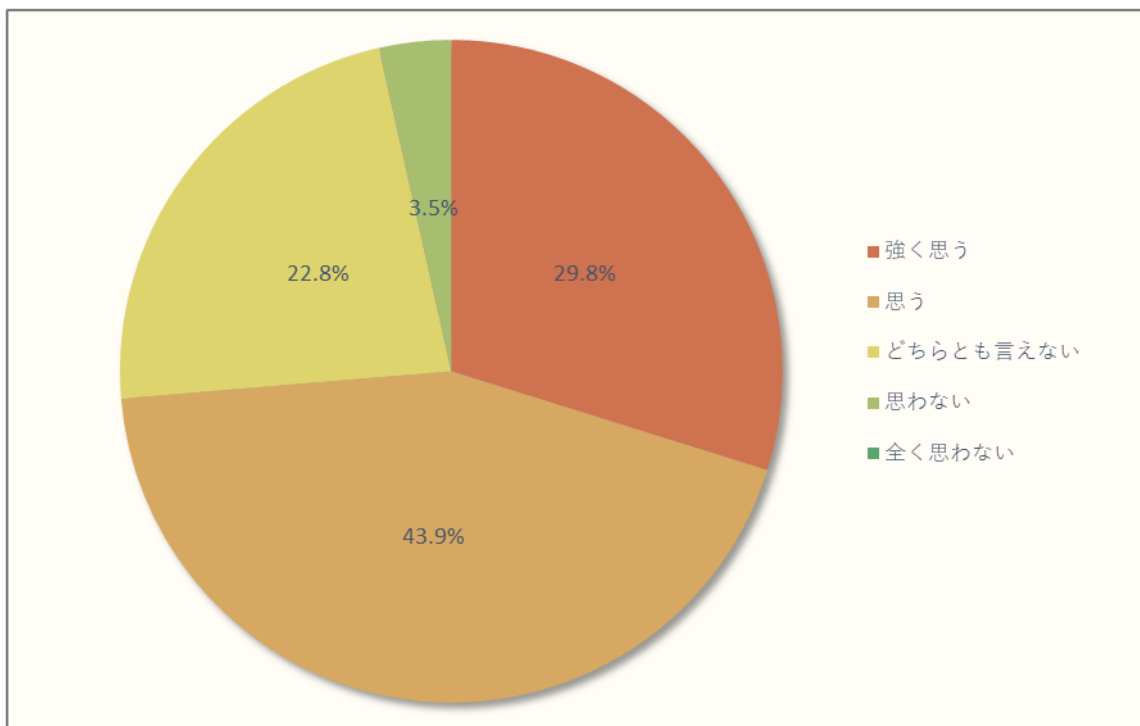


9. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

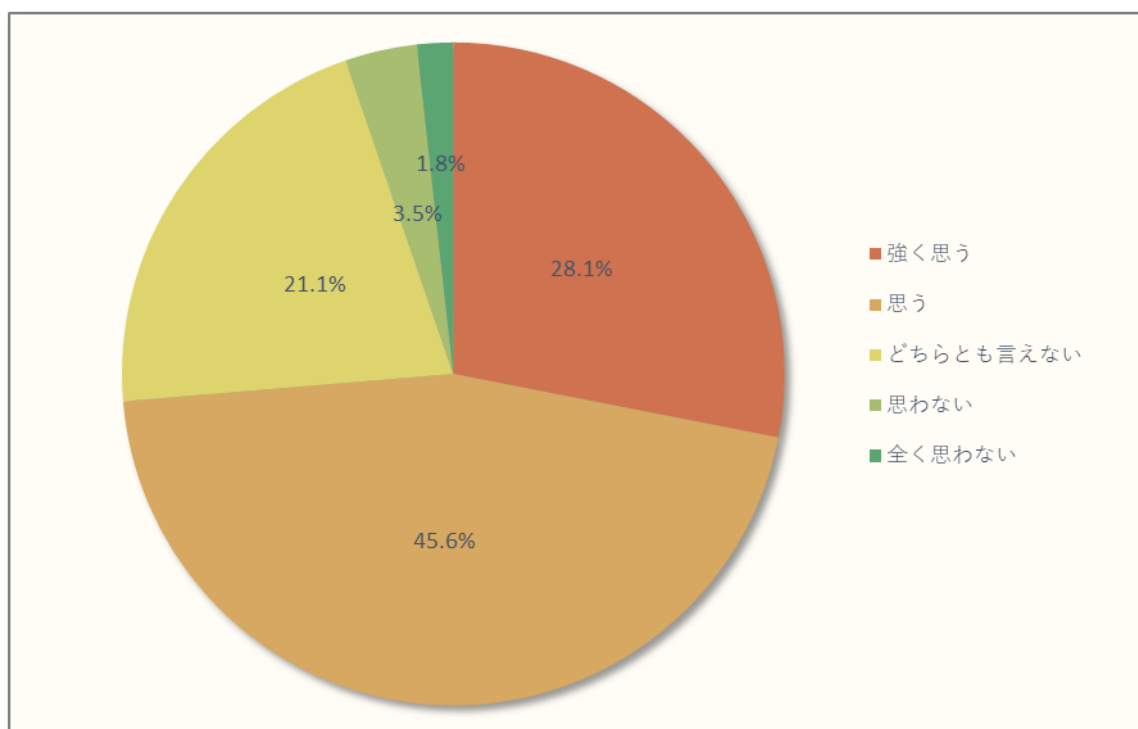
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



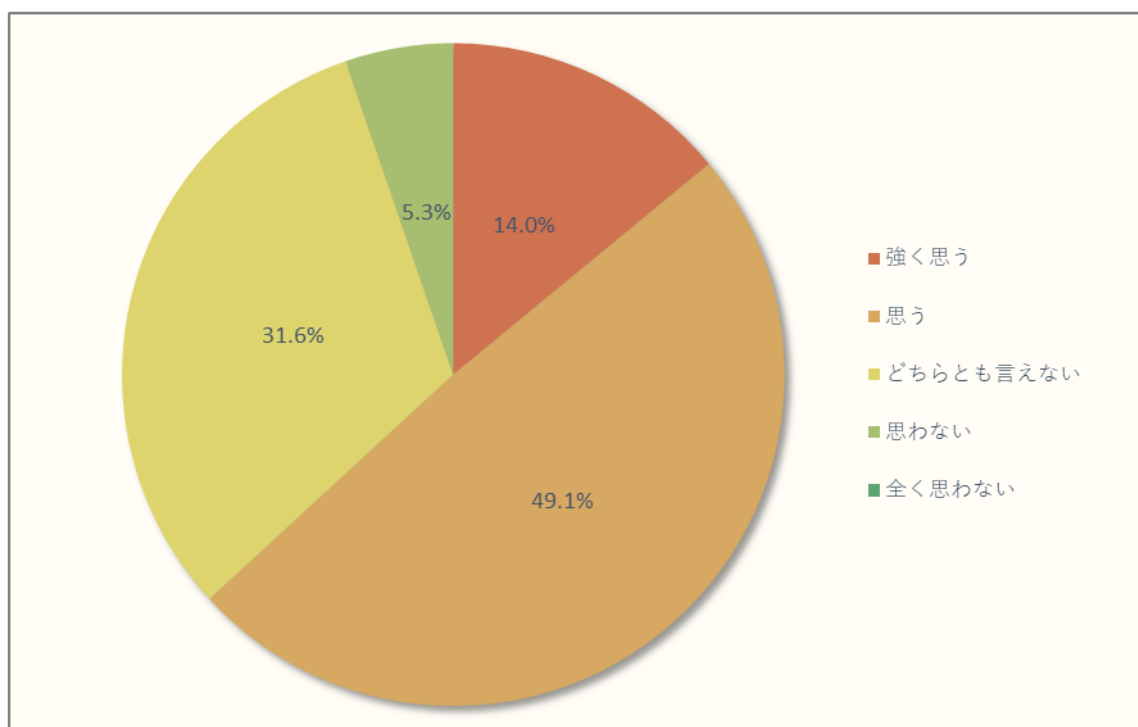
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



10. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。

